

令和8年度スポーツフェスタ「第69回福岡県民スポーツ大会」実施要項

1 趣 旨

広く県民の間にスポーツを振興し、その普及・発展とスポーツ精神の高揚を図り、一層健康で明朗な県民生活の確立に寄与する。

2 名 称

- ・スポーツフェスタ「第69回福岡県民スポーツ大会」
- ・スポーツフェスタ「第69回福岡県民スポーツ大会」スポーツの総合祭典「第13回市町村対抗福岡駅伝」

3 主 催

福岡県、福岡県教育委員会、(公財)福岡県スポーツ協会、(一社)福岡県障がい者スポーツ協会
実施競技団体、開催市町村、同教育委員会、同体育・スポーツ協会

4 主 管

開催地実行委員会、実施競技団体

5 後 援

福岡県市長会、福岡県町村会、福岡県市町村教育委員会連絡協議会、(公財)福岡県スポーツ振興センター、
福岡県スポーツ推進委員協議会

6 開催の基本方針

大会は、県民スポーツの部と国民スポーツ大会予選の部とし、次表によって区分する。

大 会 区 分	内 容	
県 民 ス ポ ー ツ の 部	夏 季 大 会	一般・年齢別・障がい者の部
	秋 季 大 会	青年・一般・壮年・障がい者の部
	冬 季 大 会	全
	公 開 競 技	県民一般
国 民 ス ポ ー ツ 大 会 予 選 の 部	県 予 選 会	青年・少年の部

※一部競技は公開競技と国民スポーツ大会予選の部を兼ねる。

7 実施競技及び会場

< 夏季大会 >

競技名	種別	郡市 対抗	公開	会場	
水 泳	少年の部	B (小4以下)		○	福岡市立 総合西市民 プール
		C (小5・小6)		○	
		D (中学生)		○	
		E (高校生及びH20.4.2 ～H23.4.1生まれの者)		○	
	少年の部リレー	○			
	小学生の部メドレーリレー	○			
	中学生の部メドレーリレー	○			
	高校生の部メドレーリレー		○		
	一般の部	18～29歳		○	
		30～34歳		○	
		35～39歳		○	
		40～44歳		○	
		45～49歳		○	
		50～54歳		○	
		55～59歳		○	
		60～64歳		○	
		65～69歳		○	
		70～74歳		○	
		75～79歳		○	
		80～84歳		○	
		85～89歳		○	
		90～94歳		○	
		95～99歳		○	
		100歳以上		○	
障がいのある方		○			
一般の部リレー	○				
一般の部メドレーリレー	○				

< 秋季大会 >

競技名	種別		郡市 対抗	公開	会場(予定)
陸上競技	一般	男女	○		博多の森陸上競技場
	青年	男女	○		
	壮年	男女	○		
バスケットボール	一般	男女	○		アクション福岡 福岡市総合体育館 福岡市民体育館 福岡市立南体育館
	青年	男女	○		
	障がいのある方	混合		○	
車いすバスケットボール	障がいのある方	混合		○	
バレーボール	一般	男女	○		とびうめアリーナ、新宮中学校、新宮東中学校
	青年	男女	○		城山中学校体育館、中央中学校体育館
	壮年	女子	○		大野城市総合体育館、大野城市東コミュニティセンター、大野城市北コミュニティセンター
	障がいのある方	混合		○	
ソフトテニス	一般	男女混	○		県営名島運動公園
	壮年	男女		○	
卓球	一般	男女混	○		粕屋町総合体育館(かすやドーム)
	青年	男女混	○		
	壮年	男女混	○		
	障がいのある方	混合		○	
バドミントン	一般	男女	○		篠栗町合併50周年記念体育館
	青年	男女	○		津屋崎中学校体育館
	壮年	男女	○		春日市総合スポーツセンター
		混合	○		
柔道	一般	男子	○		宇美町立武道館
	青年	男子	○		
	障がいのある方	混合		○	
剣道	一般	男女	○		須恵中学校体育館
	青年	男女	○		
弓道	一般	男女	○		博多の森弓道場
	青年	男女混	○		
相撲	一般	男子	○		福岡久山相撲場
	青年	男子	○		
	個人	男子		○	
ソフトボール	一般	男子	○		今津運動公園
	障がいのある方	混合		○	雁の巣レクリエーションセンター
ブラインドベースボール	障がいのある方	混合		○	調整中
空手道	一般	団体	男子	○	糸島市運動公園多目的体育館
		個人	男子	○	
	壮年	個人	男子	○	
			女子	○	
テニス	一般	男女	○		博多の森テニス競技場
車いすテニス	障がいのある方	混合		○	いづかスポーツ・リゾートテニスコート
ブラインドサッカー	障がいのある方	混合		○	調整中
車いすラグビー	障がいのある方	混合		○	クロスパルこが
ボッチャ	障がいのある方	混合		○	クローバープラザ
ライフル射撃	障がいのある方	混合		○	アクション福岡
ゴールボール	障がいのある方	混合		○	クローバープラザ
サッカー	障がいのある方	混合		○	オクゼン不動産フットボールスタジアム

< 冬季大会 >

競技名	種別	郡市対抗	公開	会場
駅伝	全	○ (市町村)		県営筑後広域公園

< 公開競技 >

競技名	種別・種目	会場		
スケート	スピード、フィギュア	福岡県立総合プールのスケートリンク		
アイスホッケー	県民一般	オーヴィジョンアイスアリーナ福岡		
スキー	中学生以上 (大回転・回転) ※大回転については中高生のみ	九重森林公園スキー場		
ボート	一般、少年男女	河内貯水池		
セーリング	県民一般 (シングルハンド級外)	福岡市ヨットハーバー		
サッカー	成年男子	福岡フットボールセンター		
体操	小学生	アクション福岡		
レスリング	成年、少年 (フリー)	調整中		
ウエイトリフティング	社会人の部、大学生の部 高校生の部、中学生の部、女子の部 マスターズの部	福岡県立八幡中央高等学校		
ハンドボール	一般男女、大学生男女	福岡大学第2 記念会堂		
自転車	トラック、県民一般	久留米競輪場		
軟式野球	成年男子	調整中		
馬術	一般	福岡県馬術競技場		
フェンシング	成年男女、高校生男女、中学生男女 小学生男女・個人戦	調整中		
ライフル射撃	一般 50mP60 50m3×20M 10mP60M 外	福岡県立総合射撃場		
ラグビーフットボール	小学生の部	調整中		
山岳	一般 (山岳・クライミング)	調整中・アクション福岡		
アーチェリー	成年男女、少年男女及び福岡県協会員	北九州市立城山緑地アーチェリー場		
銃剣道	一般、職域、少年、短剣道	調整中		
クレー射撃	一般 (トラップ、スキート)	福岡県立総合射撃場		
なぎなた	県民一般 (成年、社会人)	須恵町立須恵中学校		
ボウリング	県民一般 (2人編成)	折尾スターレーン		
ゴルフ	一般男女	予選	北九州支部 筑豊支部 福岡支部 筑後支部	調整中
		決勝	調整中	

8 開催期日

夏	季	大	会	令和8年8月23日(日)
秋	季	大	会	令和8年9月19日(土)・20日(日) ※陸上競技は27日(日)
冬	季	大	会	令和8年11月15日(日)
公	開	競	技	各競技団体の定めるところによる。

9 運営組織

- (1) 秋季大会については、開催地実行委員会が主管し、冬季大会(駅伝)については、スポーツの総合祭典市町村対抗福岡駅伝実行委員会が主管する。
夏季大会(水泳〈障がい者の部〉)、秋季大会(ソフトテニス・テニス・バスケットボール〈障がい者(知的)の部〉・車いすバスケットボール・バレーボール〈障がい者(精神)の部〉・卓球〈障がい者の部〉・バドミントン・ソフトボール〈障がい者(知的)の部〉・車いすテニス・ブラインドサッカー・車いすラグビー・ボッチャ・ライフル射撃〈障がい者の部〉・ゴールボール・柔道〈障がい者(視覚)の部〉・サッカー〈障がい者(知的)の部〉・ブラインドベースボール)及びその他の公開競技については、実施競技団体が主管する。
- (2) 開催地実行委員会は、原則として、開催市町村に設置する。
- (3) 開催地実行委員会は、主催者、開催地関係者及び実施競技団体関係者で組織する。

10 参加資格〔夏季大会、秋季大会、冬季大会(駅伝)〕

参加者は、次の各号に定める資格条件を有する者とし、郡にあっては郡体育・スポーツ協会会長、市(町村)にあっては市(町村)体育・スポーツ協会会長若しくは教育委員会教育長又は首長が代表として認めた者であること。参加者の年齢については、令和8年4月1日現在の満年齢とする。

ただし、各競技(種別)監督、コーチ、マネージャーについては、(2)～(6)を除く。

- (1) 福岡県民でアマチュア競技者であること。
- (2) 申込み時点で当該市町村に住民登録をしている者(外国人登録を含む)。
ただし、柔道競技、相撲競技、空手道競技に限り、在勤地が当該市町村にある者も以下の条件で認める。
 - ① 令和8年5月1日以前から勤務している者に限る。
 - ② 居住地より在勤地の人口が少ないことを条件として認める。(なお、人口が25,000人未満の町村(令和8年4月1日現在)は条件を適用せず、認める。)ただし、区で選手を選抜する種別(柔道：一般・青年、空手道：一般男)においては、条件を適用せず、認める。また、バドミントン競技(一般男女)については、県内他郡市在住であっても、出身中学校所在地の郡市からの出場を各種別出場者の1/2以内で認める。ただし、複数の郡市から参加依頼がある場合は、本人の意向を尊重し、当事者間で十分協議の上、決定すること。
- (3) 夏季大会及び秋季大会「青年の部」の一部、空手道競技、冬季大会を除き学生・生徒の参加は認めない。ただし、水泳競技に関しては、学連に登録していない学生の参加は認める。
- (4) 青年の部は、下記〈青年の部の参加制限〉のとおり制限を設ける。また、バスケットボール競技及び剣道競技は、全国青年大会の予選とする。
- (5) 一般、壮年の部は、下記〈「青年の部」以外の参加制限〉のとおり制限を設ける。
- (6) 公開競技の部は、下記〈公開競技の部の参加制限〉のとおり制限を設ける。
- (7) 上記(1)～(6)に関わらず、夏季大会〔水泳〈障がい者の部〉〕、冬季大会〔駅伝〕及び秋季大会(車いすバスケットボール・バレーボール〈障がい者(精神)の部〉・卓球〈障がい者の部〉・バドミントン・ソフトボール〈障がい者(知的)の部〉・バスケットボール〈障がい者(知的)の部〉・車いすテニス・ブラインドサッカー・車いすラグビー・ボッチャ・射撃〈障がい者の部〉・ゴールボール・柔道〈障がい者(視覚)の部〉・サッカー〈障がい者(知的)の部〉・ブラインドベースボール)の参加資格については各競技実施要項に定める。

〈青年の部の参加制限〉

- ア ① 40歳以下の者で、令和8年5月1日以前から、引き続き当該市町村に住民登録をしている者とする。
 - ② 剣道・陸上競技は35歳以下の者とする。
 - ③ オーバーエイジ枠については、卓球競技は男女各1名、柔道競技は5人制は2名・3人制は1名、バレーボール競技は3名、バスケットボール競技は2名を認める。
- イ 職業競技者及び過去において職業競技者であった者は参加できない(相撲競技については、過去に職業競技者であった者の参加は認める)。

ウ 学生・生徒の参加基準は次のとおりとする。

大学生・大学院生・短大生・専門学校生・専修学校生

各競技登録選手のうち、次表の範囲内で参加を認める。ただし、各競技の学生連盟に登録している者は参加できない。

陸上競技	参加できない	バスケットボール	2名以内
バレーボール	3名以内	卓球	制限なし
バドミントン	男女各1名以内	柔道	5人制：2名以内 3人制：1名以内
剣道	男子2名以内、女子1名以内		
弓道	1名以内	相撲	2名以内

定時制・通信制の高等学校、各種学校の生徒及び通信制大学・夜間大学の学生

参加できる。

全日制高等学校の生徒

参加できない。

エ 大会出場に関する制限

過去において次表の競技別大会に選手として出場（エントリーのみも含む）した者、及び本年度選手として出場が決定若しくは内定している者は、その当該競技に出場できない。

ただし、国民スポーツ大会「少年の部」の出場者の参加は認める。

競技名	参加制限の大会名
陸上競技	国際競技大会 日本選手権大会 国民スポーツ大会 全日本実業団大会 実業団・学生対抗大会
バスケットボール	国際競技大会 全日本総合選手権大会 国民スポーツ大会 全日本実業団選手権大会 全日本実業団競技大会 男子：Bリーグ 女子：WJBLリーグ JBL (JBL2)、NBL (NBDL) 全日本社会人バスケットボール地域リーグチャンピオンシップ bjリーグ 3×3. EXE PREMIER
バレーボール	国際競技大会 国民スポーツ大会 SV・Vリーグ 全国6人制バレーボールリーグ総合優勝大会
卓球	過去5年間において、下記大会に出場したものは出場できない。 国際競技大会 全日本選手権大会 国民スポーツ大会
バドミントン	過去5年間において、下記大会に出場したものは出場できない。 国際競技大会 全日本総合選手権大会 国民スポーツ大会 S/Jリーグ 全日本社会人選手権大会
柔道	国際競技大会 全日本選手権大会 国民スポーツ大会 全国高段者大会 全日本実業団対抗大会（3部を除く） 全国警察大会 全日本実業団個人選手権大会 全国警察選手権大会 講道館杯争奪日本体重別選手権大会 全国教員大会 全日本産業別大会
剣道	国際競技大会 全日本選手権大会 国民スポーツ大会 全国教職員大会 全日本都道府県対抗大会 全国警察官大会
弓道	国民スポーツ大会 全日本弓道選手権大会（天皇盃、皇后盃）
相撲	国民スポーツ大会 全日本相撲選手権大会

< 「青年の部」以外（公開競技除く）の参加制限 >

ア 年齢制限 ※参加者の年齢については、令和8年4月1日現在の満年齢とする。

競技名	種別		内容	
陸上競技	一般	男女	39歳以下	
	壮年	男女	40～49歳の部	
			50～59歳の部	
			60～69歳の部	
			70～79歳の部	
			80～89歳の部	
			90～99歳の部	
			100歳以上	
バスケットボール	一般	男子	35歳以上	ただし、35歳未満の者が選手数の1/2に達しない範囲で参加できる。
		女子	年齢制限しない	
バレーボール	一般	男子	30歳以上	ただし、30歳未満の者が選手数の1/2に達しない範囲で参加できる。
		女子	年齢制限しない	
	壮年	女子	35歳以上	
剣道	一般	男子	各ポジションに年齢制限あり（申込み締切日時点）	
		女子	年齢制限しない ただし、大将は40歳以上の者（申込み締切日時点）	
卓球	一般	男女	年齢制限しない	
	壮年	男女	50歳以上	
バドミントン	一般	男女	年齢制限しない	
	壮年	男女	40歳以上	
	壮年混成	男女	55歳以上	
弓道	一般	男子	30歳以上 ただし、30歳未満の者は1名まで参加できる。	
		女子	年齢制限しない	
ソフトテニス	一般	男女	年齢制限しない	
柔道	一般	男子	年齢制限しない	
相撲	一般	男子	年齢制限しない	
ソフトボール	一般	男子	40歳以上	
空手道	一般	男女	18歳以上	
	壮年	男子	35歳以上	
		女子	30歳以上	
テニス	一般	年齢制限しない		
駅伝	全		別途定める	

イ 大会出場に関する制限

令和7年度に選手として次表の大会に出場した者、並びに本年度出場が選手として決定若しくは内定している者は、その当該競技に出場できない。

競 技 名	参 加 制 限 の 大 会 名
水 泳	日本選手権大会 国民スポーツ大会
バスケットボール	全日本選手権大会 男子：Bリーグ 女子：WJBLリーグ
バレーボール (一般男子)	国民スポーツ大会 Vリーグ (プレミア・チャレンジ) 全国6人制バレーボール総合優勝大会 全日本実業団選手権大会 全日本総合選手権大会
ソフトテニス	国民スポーツ大会及び全国ランキング10位以内に登録された者
卓 球	国民スポーツ大会 全日本卓球選手権大会 全日本卓球選手権 (マスターズ) 大会 (60歳以上は除く)
バドミントン	(壮年の部を除く) 国民スポーツ大会 全日本総合選手権大会 全日本実業団選手権大会 全日本社会人選手権大会
柔 道	国民スポーツ大会 全日本選手権大会 全日本体重別選手権大会
剣 道	国民スポーツ大会 全日本剣道選手権大会 全日本都道府県対抗剣道大会 全国教職員剣道大会
弓 道	国民スポーツ大会 全日本選手権大会 (天皇盃、皇后盃)
相 撲	国民スポーツ大会 全日本選手権大会
ソフトボール	国民スポーツ大会 全日本実業団選手権大会 全日本総合選手権大会 全日本クラブ男子選手権大会 全日本壮年選手権大会 全日本教員選手権大会
空 手 道	国民スポーツ大会 全日本選手権大会
テ ニ ス	国民スポーツ大会 全日本選手権大会
駅 伝	国民スポーツ大会 (男子：800m、3000m障害、女子：800m、5000m以外の種目及び少年の部を除く) 都道府県対抗男・女駅伝 (中高生を除く) 全日本実業団男・女駅伝 全日本大学男・女駅伝

ウ その他の制限

- (ア) 相撲競技で、過去において職業競技者であった者がアマチュアに復帰した場合は参加できる。
※アマチュア復帰とは、県相撲連盟に申請して許可された者をいう。
- (イ) 空手道競技 (一般の部) については、学生・生徒の参加を認める。ただし、学生・生徒の参加基準は「10 参加資格<青年の部の参加制限>」のウに準ずる。参加人数は制限しない。

< 公開競技の部の参加制限 >

※参加者の年齢については、令和8年4月1日現在の満年齢とする。

ソフトテニス (壮年の部)	45歳以上 ただし、チーム編成にあたって別途年齢枠あり。	
相 撲 (個人戦)	年齢制限はしない 一般、青年の部に出場した者も個人戦に出場できる。 ※下記に該当するものは出場できない。 国民スポーツ大会、全日本選手権大会	
空 手 道	組 形	
	一般男子	18歳以上
	壮年男子	35歳以上
	一般男子	年齢制限しない
	壮年男子	35歳以上
水泳 (B~E)	「少年の部」の参加人数は別表のとおりとする。	

11 得点競技（郡市対抗で行う競技）の総合成績決定方法

総合成績決定方法は、次のとおりとする。

下記（1）、（2）の得点を合計したものを郡市ごとの総合成績及び男子総合成績、女子総合成績とする。

（1） 競技得点

競技得点は、原則として、各種別の第1位～第8位までの郡市に与え、得点配分は次表のとおりとする。

< 夏季大会 >

水 泳 競 技	1位 40点	2位 35点	3位 30点	4位 25点
	5位 20点	6位 15点	7位 10点	8位 5点
	※ 少年の部リレー（男女）及び一般の部リレー（男女）、メドレーリレー小学生の部（男女）・中学生の部（男女）・一般の部（男女）の成績の合計により、順位を決定する。なお、同順位の場合は、次の順位のものに加え、当該郡市で等分する。			

< 秋季大会 >

区分	得点	該当競技																
1位～8位までの順位が決まるもの	1位 40点 2位 35点 3位 30点 4位 25点 5位 20点 6位 15点 7位 10点 8位 5点 なお、同順位の場合は、次の順位のものに加え、当該郡市で等分する。	陸上競技（青年男女）（一般男女） （壮年男女） 柔道（青年男子） 弓道（青年）（一般男女） 相撲（青年男子）（一般男子）																
トーナメントで順位が決まるもの	<table border="1"> <tr><td>1位</td><td>2位</td><td>3位</td><td>3位</td></tr> <tr><td>40点</td><td>35点</td><td>27.5点</td><td>27.5点</td></tr> <tr><td>5位</td><td>5位</td><td>5位</td><td>5位</td></tr> <tr><td>12.5点</td><td>12.5点</td><td>12.5点</td><td>12.5点</td></tr> </table>	1位	2位	3位	3位	40点	35点	27.5点	27.5点	5位	5位	5位	5位	12.5点	12.5点	12.5点	12.5点	バスケットボール（青年男女）（一般男女） ソフトテニス（一般） 卓球（青年）（一般） （壮年） バドミントン（青年） 柔道（一般男子） 剣道（青年男女）（一般男女） 空手道（一般男子団体）
	1位	2位	3位	3位														
40点	35点	27.5点	27.5点															
5位	5位	5位	5位															
12.5点	12.5点	12.5点	12.5点															
パート別に順位を決めるもの	<table border="1"> <tr><td>1位</td><td>2位</td><td>3位</td><td>4位</td></tr> <tr><td>40点</td><td>35点</td><td>30点</td><td>25点</td></tr> <tr><td>5位</td><td>5位</td><td>7位</td><td>7位</td></tr> <tr><td>17.5点</td><td>17.5点</td><td>7.5点</td><td>7.5点</td></tr> </table>	1位	2位	3位	4位	40点	35点	30点	25点	5位	5位	7位	7位	17.5点	17.5点	7.5点	7.5点	テニス（一般）
	1位	2位	3位	4位														
40点	35点	30点	25点															
5位	5位	7位	7位															
17.5点	17.5点	7.5点	7.5点															
パート別に順位を決めるもの	5パートの場合	ソフトボール（一般男子）																
	<table border="1"> <tr><td>各パートの1位</td><td>それぞれ25点</td></tr> <tr><td>各パートの2位</td><td>それぞれ11点</td></tr> </table>	各パートの1位	それぞれ25点	各パートの2位	それぞれ11点	バレーボール（一般男子）（一般女子） （青年男女）（壮年女子）												
	各パートの1位	それぞれ25点																
各パートの2位	それぞれ11点																	
4パートの場合	<table border="1"> <tr><td>各パートの1位</td><td>それぞれ32.5点</td></tr> <tr><td>各パートの2位</td><td>それぞれ12.5点</td></tr> </table>	各パートの1位	それぞれ32.5点	各パートの2位	それぞれ12.5点	バドミントン（一般男子）（一般女子） （壮年男子）（壮年女子） （壮年混成男女）												
各パートの1位	それぞれ32.5点																	
各パートの2位	それぞれ12.5点																	
個人の成績によるもの	2パートの場合	空手道（一般女子形） （壮年女子形） （一般女子組手） （壮年女子組手）																
	<table border="1"> <tr><td>各パートの1位</td><td>それぞれ37.5点</td></tr> <tr><td>各パートの2位</td><td>それぞれ27.5点</td></tr> <tr><td>各パートの3位</td><td>それぞれ12.5点</td></tr> <tr><td>各パートの3位</td><td>それぞれ12.5点</td></tr> </table>		各パートの1位	それぞれ37.5点	各パートの2位	それぞれ27.5点	各パートの3位	それぞれ12.5点	各パートの3位	それぞれ12.5点								
各パートの1位	それぞれ37.5点																	
各パートの2位	それぞれ27.5点																	
各パートの3位	それぞれ12.5点																	
各パートの3位	それぞれ12.5点																	
個人の成績によるもの	1位8点 2位7点 3位5.5点 3位5.5点 5位2.5点 5位2.5点 5位2.5点 5位2.5点																	

（2） 参加得点

参加得点は5点とし、参加した郡市に与える。

ただし、申し込みをしながら参加しなかった場合は与えない。

（3） 各競技の成績は、当該競技団体が決定する。ただし、天候のその他の事情により競技が中止になった場合は、主管団体と大会本部が協議する。

12 開会式（開始式）・閉会式

- (1) 各開催競技で行う。
- (2) 競技別開会式（開始式）・閉会式（案）は別に示す。
※令和8年度大会より県民スポーツ大会（夏季・秋季）の総合開会式を実施しない。
(6/28開催：スポーツフェスタオープニングフェスを総合開会式の代替とする。)

13 競 技

- (1) 競技開始時刻は競技毎に定める。
- (2) 雨天時の日程は別に定める。

14 参加申込み及び参加料

- (1) 別途定める様式によりそれぞれの期日までに（公財）福岡県スポーツ協会あてに申し込むこと。

■ 申 込 先

公益財団法人福岡県スポーツ協会 県民スポーツ大会担当
〒812-0852 福岡県福岡市博多区東平尾公園2丁目1番4号
福岡県立スポーツ科学情報センター内
TEL. 092-629-3535 FAX. 092-629-3536

■ 申込締切

夏 季 大 会	令和8年7月3日（金）
秋 季 大 会	令和8年7月28日（火）
市町村対抗福岡駅伝	令和8年10月30日（金）

- (2) 参加料
17歳以下は200円、18歳以上は500円（高校生は200円）とする。
※ 悪天候により大会が中止になった場合についても参加料は返還しない。
- (3) 障がい者の部及び公開競技の参加申込み及び参加料については、各競技実施要項による。

15 チーム編成

(1) 各競技の編成は次表のとおりとする。

競技名	種別		選出母体		
			郡市	区〔福岡市〕 北九州市	その他 (団体・個人)
陸上競技	一般	男女	○		
	青年	男女	○		
	壮年	男女	○		
バスケットボール	一般	男子	○	○	
		女子	○		
	青年	男女	○	○	
	障がいのある方	混合			○
車いすバスケットボール	障がいのある方	混合			○
バレーボール	一般	男女	○	○	
	青年	男女	○	○	
	壮年	女子	○	○	
	障がいのある方	混合			○
ソフトテニス	一般		○		
	壮年(公開)		○		
卓球	一般・青年		○	○	
	壮年		○	○	
	障がいのある方	男女			○
バドミントン	一般	男女	○	○	
	青年		○	○	
	壮年	男女	○		
	壮年混成男女		○		
柔道	一般・青年		○	○	
	障がいのある方				○
剣道	一般	男女	○	○	
	青年	男女	○	○	
弓道	一般	男女	○	○	
	青年		○	○	
相撲	一般		○		
	青年		○		
	個人(公開)		○		
ソフトボール	一般男子		○	○	
	障がいのある方	混合			○
ブラインドベースボール	障がいのある方	混合			○
空手道	一般	男子	○	○	
		女子	○		
	壮年	男子	○		
		女子	○		
テニス	一般		○		
車いすテニス	障がいのある方	混合			○
フライントサッカー	障がいのある方	混合			○
車いすラグビー	障がいのある方	混合			○
ボッチャ	障がいのある方	混合			○
射撃	障がいのある方	混合			○
ゴールボール	障がいのある方	混合			○
サッカー(知的)	障がいのある方	混合			○
駅伝	全		○(市町村)		

16 参加上の注意

- (1) 各郡市の役員構成は次のとおりとする。
団長1名 副団長2名 総監督1名 総務8名程度
- (2) 冬季大会（駅伝）には市町村の旗を準備すること。
- (3) 参加者は医師の健康診断を受け、異常がないと認められた者であること。
- (4) 競技中に事故があった場合は、応急処置のみ主催者が行う。
- (5) 大会当日の参加者のスポーツ傷害保険（団体総合補償制度費用保険）については主催者が加入する。
- (6) 青年の部と一般の部を兼ねて出場することはできない。
※ 競技によっては、30歳から40歳の者は、兩種別に出場資格はあるが、兼ねて出場することはできない。

17 氏名・大会中の写真等個人情報について

大会にあたり、選手の氏名、写真、映像等がテレビ・新聞等で報道されることがある。大会プログラム及び大会報告書の冊子や福岡県スポーツ協会ホームページ等に、氏名、障がい、所属団体名、大会中の写真等を掲載することがあり、これらのことについては、参加申込書が提出されたことをもって同意があったものとする。

18 その他

- (1) 各競技の組み合わせは主催者が行う。
- (2) 申込み後の選手変更は原則として認めない。ただし、秋季大会においてやむを得ない事故等における選手の変更は、大会当日の受付にて別紙選手変更届（別紙様式）を提出することにより、その変更を認める（選手の追加及び他の種別からの変更は認めない）。
※障がい者種別について、選手変更がある場合には、当日、大会本部に申し出ること。
- (3) 本大会において、不正出場を行った場合は、その種目（種別）の試合を失格とする。

水 泳 競 技

- 1 期 日 令和8年8月23日(日)
 2 会 場 福岡市立総合西市民プール

3 実施要項

(1) 対 象

種 別	年 齢 区 分	
少 年 の 部	B	小学4年生以下
	C	小学5・6年生
	D	中学生
	E	高校生 及び 2008(H20)年4月2日～2011(H23)年4月1日生まれの者
一 般 の 部	18～29歳	※ 令和8年12月31日の満年齢
	30～34歳	
	35～39歳	
	40～44歳	
	45～49歳	
	50～54歳	
	55～59歳	
	60～64歳	
	65～69歳	
	70～74歳	
	75～79歳	
	80～84歳	
	85～89歳	
	90～94歳	
95～99歳		
100歳以上		

(2) 競技種目及び標準記録

[少年の部]

() 内は参加標準記録 単位 [m]

種目	年齢	B(小4以下)		C(小5・小6)		D(中学生)		E(高校生等)	
	性別	男	女	男	女	男	女	男	女
自由形		50 (44.0)	50 (44.0)	50 (38.0)	50 (38.0)	50 (34.0)	50 (36.0)	50 (32.0)	50 (35.0)
平泳ぎ		50 (56.0)	50 (56.0)	50 (48.0)	50 (48.0)	50 (42.0)	50 (46.0)	50 (39.0)	50 (44.0)
バタフライ		50 (47.0)	50 (47.0)	50 (41.0)	50 (41.0)	50 (36.0)	50 (39.0)	50 (34.0)	50 (39.0)
背泳ぎ		50 (50.0)	50 (50.0)	50 (44.0)	50 (44.0)	50 (37.0)	50 (40.0)	50 (35.0)	50 (39.0)
リレー	男	50		50		50		50	
	女		50		50		50		50
メドレーリレー		BもしくはC 50×2(男)、50×2(女)				50×2(男) 50×2(女)			

※高校生の部混合 200mメドレーリレー (公開競技)

メドレーリレー		50×2 (男) 50×2 (女)
---------	--	----------------------

[一般の部]

単位〔m〕

種目	年齢 性別	18～29歳		30～34歳		35～39歳		40～44歳		45～49歳		50～54歳		55～59歳		60～64歳		65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85～89歳		90～94歳		95～99歳		100歳以上	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
自由形		50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	
平泳ぎ		50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	
バタフライ		50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	
背泳ぎ		50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	
リレー	男	50		50		50		50																									
	女	50(2名)		50(2名)																													
メドレーリレー		50×2(男)、50×2(女)																															

(3) 参加について

ア 参加資格

- (ア) 少年の部に出場する者は、3の(2)に定める参加標準記録を超えた者に限る。
- (イ) 選手は当該年齢区分にだけ出場できる。

イ 出場制限

少年の部は1人1種目、一般の部は、1人2種目以内とする。ただし、リレーを除く。
 また、大会規模により年齢別の部は参加人数制限を行う事もある。
 なお、令和7年度に選手として全日本選手権大会または国民スポーツ大会に出場した者、並びに本年度の出場が選手として決定若しくは内定している者は出場できない。

(4) 競技方法

ア 各種目ともタイムレース決勝で行う。

イ リレーは次のとおり実施する。

- (ア) 各郡市1チームを編成し、郡市対抗競技とする。
- (イ) チーム編成及び泳者順
- (ウ) 高校生混合200mメドレーリレーは公開競技とする。

○フリーリレー及びメドレーリレー

[少年の部]

(※記号B～Eは年齢区分を示す。)

種目	泳者順 性別	1	2	3	4
		フリー	男子(200m)	B(50m)	C(50m)
	女子(200m)	B(50m)	C(50m)	D(50m)	E(50m)
メドレー	男女(200m)	BもしくはC 50m×2(男) 50m×2(女)		50m×2(男) 50m×2(女)	

[一般の部]

種目	泳者順 性別	18～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上
		フリー	男子(200m)	50m (1名)	50m (1名)	50m (1名)	50m (1名)						
	女子(200m)	50m (2名)	50m (2名)										
メドレー	男女(200m)		50m×2名(男)				50m×2名(女)						

ウ 各年齢区分で選手を決定すること。ただし、その年齢区分に該当者がいない場合、一般の部については上の年齢区分の者が下の年齢区分に、少年の部については下の年齢区分の者が上の年齢区分に出場することができる。

エ 泳ぐ順序は、別に取り決めない（一般の部のみ）。

オ メドレーリレー（50m×4）

チーム編成は男女混合（男子2名、女子2名）とする。ただし、泳ぐ順序は別に取り決めない。

（ア） 小学生の部

（イ） 中学生の部（小学生の繰り上がり出場を認める）。

（ウ） 一般の部（18～29歳）を除く。

（エ） 高校生の部（公開競技）

(5) 競技規則

ア 令和8年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則に準じて行う。

イ スタートについて

◎スタートは1回のルールを採用する。

◎出発合図員の「take your marks (テイク ユア マーク(s))」の号令で、速やかにスタートの姿勢をとり必ず静止する事。スタートのやり直しは行わない。

◎ホイッスルは電子ホイッスルを使用する。

(6) 表彰

ア 各種目上位3位まで表彰する。

イ リレー種目の合計点により、第1位のチームに優勝楯を授与する。

(7) その他

本大会は、（公財）日本水泳連盟及び（一社）日本マスターズ水泳協会の公認大会ではない。

参加者の皆様におかれましては、本対応の趣旨をご理解頂き、大会役員、競技役員の指示には従って頂きますようお願いいたします。皆様のご理解、ご協力の程、よろしくをお願いいたします。

少年の部(B～E)参加人数制限

(人)

郡 市 名	制 限 人 数	郡 市 名	制 限 人 数
北 九 州 市	55	大 野 城 市	50
福 岡 市	87	宗 像 市	35
大 牟 田 市	50	太 宰 府 市	30
久 留 米 市	67	古 賀 市	17
直 方 市	25	福 津 市	22
飯 塚 市	39	う き は 市	50
田 川 市	15	み や ま 市	15
柳 川 市	22	那 珂 川 市	30
宮 若 市	15	糟 屋 郡	35
朝 倉 市	64	遠 賀 郡	30
八 女 市	35	鞍 手 郡	15
筑 後 市	22	嘉 穂 郡	15
大 川 市	20	朝 倉 郡	20
行 橋 市	22	三 井 郡	22
豊 前 市	15	三 潁 郡	15
中 間 市	15	八 女 郡	15
小 郡 市	32	田 川 郡	15
筑 紫 野 市	50	京 都 郡	15
春 日 市	35	築 上 郡	15
糸 島 市	30	計	1,191
嘉 麻 市	15		

※開催地区には、本表の人数の他に15名をプラスする(15名は、地区内で分配することとする)。

■水泳（障がい者の部）

1 期 日 令和8年8月23日（日）

2 会 場 福岡市立総合西市民プール

3 実施要項

(1) 参加資格

県内在住の方で、長水路での競技会に出場したことがある者に限る

(2) 出場制限

1人1種目とする

また、大会規模により、参加人数制限を行う事がある。

(3) 競技方法

ア 男女混合のマルチクラスで実施

イ スタートについて

- ・スタートは1回のルールを採用する。
- ・出発合図員の「take your marks (テイク ユア マーク(s))」の号令で、速やかにスタートの姿勢をとり必ず静止する事。スタートのやり直しは行わない。
- ・ホイッスルは電子ホイッスルを使用する。

(4) 表彰

完泳した選手に記録証を配布する。

(5) その他

本大会の記録は、公認されない。

4 参加申込

(1) 申込先

福岡パラスポーツ指導者協議会事務局(担当：福田)

〒815-0031 福岡市南区清水 1-17-15 福岡市立障がい者スポーツセンター内

TEL：080-3223-3177 FAX：092-303-8727

E-mail：kyuburo@mqc.biglobe.ne.jp

(2) 申込締切日

令和8年7月3日（金）

(3) 参加料

17歳以下は200円、18歳以上は500円（高校生は200円）とする。

大会当日の受付時に徴収します。

陸 上 競 技

1 期 日 令和8年9月27日(日)

2 会 場 博多の森陸上競技場

3 実施要項

(1) 種別・種目

ア 一般の部

男子…100m、走高跳、走幅跳

女子…100m、3,000m、走幅跳、砲丸投(4 kg)

イ 青年の部

男子…100m、400m、1,500m、走高跳、走幅跳、砲丸投(6 kg)

女子…100m、200m、800m、走高跳、走幅跳、砲丸投(4 kg)

ウ 壮年の部 (トラック種目はタイムレース決勝、跳躍・投てき種目は3回の試技とする)

男子…100m(40～49歳・50～59歳・60～69歳・70歳～79歳・80歳～89歳・90歳～99歳・100歳以上)

3,000m(50～59歳・60～69歳・70歳～79歳・80歳～89歳・90歳～99歳・100歳以上)

走幅跳(40～49歳・50～59歳・60～69歳・70歳～79歳・80歳～89歳・90歳～99歳・100歳以上)

砲丸投(40～49歳)5 kg ・(50～59歳・60歳～69歳)4 kg

(70歳～79歳・80歳～89歳・90歳～99歳・100歳以上)2.721kg

女子…100m(40～49歳・50～59歳・60～69歳・70歳～79歳・80歳～89歳・90歳～99歳・100歳以上)

3,000m(40～49歳・50～59歳・60～69歳・70歳～79歳・80歳～89歳・90歳～99歳・100歳以上)

走幅跳(40～49歳・50～59歳・60～69歳・70歳～79歳・80歳～89歳・90歳～99歳・100歳以上)

砲丸投(40～49歳・50歳～59歳)4 kg ・(60歳～69歳・70～79歳・80歳～89歳・90歳～99歳・100歳以上)2.721kg

※種目については各郡市2名までの参加とする(年齢は、令和8年4月1日で区分する)。

エ 男子…4×100mR

オ 女子…4×100mR

(2) チーム編成

ア 郡市単位、監督2名、選手1種目2名以内、1人2種目以内。ただし、リレーを除く。

イ リレーは6名連記のこととする。

(3) 総合順位の決定

各種目は1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とし、その合計点数により総合順位を決定する。

同点の場合は1位の数による。

(4) 競技規則

この大会に適用する競技規則は、2026年度日本陸上競技連盟規則並びに本大会実施規則を適用する。

(5) アスリートビブス(ナンバーカード)について

アスリートビブス(ナンバーカード)は別に定める郡市番号と個人番号を組み合わせ、次号規格にアラビア数字を男子黒字、女子赤字で記入し、胸背部につけること。

ただし、走高跳、走幅跳はそのいずれか1枚でもよい。

なお、郡市番号については、「陸上競技アスリートビブス(ナンバーカード)一覧表」を参照の上、男子奇数、女子偶数で記入すること。

アスリートビブス(ナンバーカード)の大きさは、縦16cm 横24cm 以上

※郡市番号が1桁の郡市は3桁、郡市番号が2桁の郡市は4桁とする。

例 ○○○ 101 102 204 309 410 など

郡市番号1桁個人番号2桁

例 ○○○○ 1001 2102 3004 4309 5420 など

郡市番号2桁個人番号2桁

(6) 申込方法

・WEB エントリーシステムを利用した申込です。エントリーサイトおよび手順などは別途ご案内します。

・申込締切 2026（令和8）年7月28日(火)

(7) 競技注意事項

- ① 招集所は、競技場入口横に設ける。
- ② 招集は競技開始前、トラックは30分前から15分前、フィールド・リレーは40分前から20分前までに受付を完了すること。
- ③ トラック競技は、招集の時腰ナンバーを受け取り、右腰やや後方に付けて競技に出場すること。
- ④ レーン順、試技順は、プログラム記載順の左から右へ、上から下とする。
- ⑤ リレーのオーダーは招集開始1時間前までに記入し、招集所に提出すること。
また、オーダー用紙提出後は、走順の変更は認めない。
※オーダー用紙は招集所に用意する。
※オーダー用紙提出は招集を受けたことにならない。4人そろって招集所で招集を受けること。
テークオーバーゾーンは30mとする。
- ⑥ スパイクのピンの長さは9mm以下、走高跳は12mm以下とする。
- ⑦ 投てき物（砲丸）は、主催者が準備をしたものを使用する。
個人が所有しているものを使用する場合は、主催者の検定に合格したものとし、出場している全ての競技者が使用できることを条件とする。
- ⑧ 欠場の場合、招集所に準備している欠場届を提出する。
- ⑨ 選手変更は、当日、受付時に提出すること。勝手に変更の場合失格とする。
- ⑨ ウォーミングアップの場所については、他の競技の邪魔にならないよう、競技場内で行うこと。
- ⑩ バーの上げ方
走高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。天候により審判長と協議の上変更の場合がある。
 - ・男子…1.45m(練習) 1.50m(開始) - 1.55 - 1.60 - 1.65 - 1.70 - 1.75 以上 3cm 毎
 - ・女子…1.00m(練習) 1.05m(開始) - 1.10 - 1.15 - 1.20 - 1.25 - 1.30 以上 3cm 毎

陸上競技アスリートビブス(ナンバーカード)郡市番号一覧

福岡市	1~2	糟屋郡	47~48
久留米市	3~4	遠賀郡	51~52
大牟田市	5~6	鞍手郡	53~54
北九州市	7~8	嘉穂郡	55~56
直方市	9~10	朝倉郡	57~58
田川市	11~12	三井郡	63~64
飯塚市	13~14	三潴郡	65~66
柳川市	15~16	八女郡	67~68
八女市	21~22	田川郡	71~72
筑後市	23~24	京都市	73~74
大川市	25~26	築上郡	75~76
行橋市	27~28		
豊前市	29~30		
中間市	31~32		
小郡市	33~34		
筑紫野市	35~36		
春日市	37~38		
大野城市	39~40		
宗像市	41~42		
太宰府市	43~44		
那珂川市	45~46		
糸島市	77~78		
古賀市	79~80		
福岡市	81~82		
うきは市	83~84		
宮若市	85~86		
朝倉市	87~88		
嘉麻市	89~90		
みやま市	91~92		

バスケットボール競技

1 期 日 令和8年9月19日(土)・20日(日)

2 会 場 9月19日(土)

アクション福岡

福岡市総合体育館、福岡市民体育館

福岡市立南体育館

9月20日(日)

福岡市総合体育館

3 実施要項

(1) 種 別

一般男子

一般女子

青年男子

青年女子

(2) チーム編成

1 チーム 監督1名、選手12名以内

(コーチ、マネージャーもベンチに入ることができる)

一般男子 — 郡市単位、政令市は区単位で編成

一般女子 — 郡市単位で編成

青年男子 — 郡市単位、政令市は区単位で編成

青年女子 — 郡市単位、政令市は区単位で編成

(3) 競技方法

ア 令和8年度の(公財)日本バスケットボール協会競技規則による。

ただし、試合時間は全試合8分クォーター・延長3分とする。

イ トーナメント式(3位決定戦は実施しない)

(4) その他

ア バスケットボール競技規則に基づき、選手は全員同じユニフォームを着用する。

ただし、チームによって困難な場合は、ビブス等で対応する。

イ 一般男子チームについては、35歳以上で構成する。ただし、35歳未満の者が1/2に達しない範囲で参加できる。なお、35歳未満の選手においては3cm×5cmの赤布(赤印)を左胸部に縫い付けておくこと。(競技担当者がわかるテープ等の赤印も可)付けずに試合に出場した際は失格とし、そのゲームを没収するとともに相手チームを勝ちとして競技規則に則り処置する。

ウ 試合球は、男子7号球、女子6号球を使用する。

エ 参加制限変更点を熟知し、厳守すること。

■バスケットボール競技（障がい者（知的）の部）

1 期 日 令和8年9月20日（日）

2 会 場 福岡市総合体育館

3 実施競技

(1) 種 別

バスケットボール（知的障がいの部・男女）

(2) 参加資格

ア 当該年度4月1日現在13歳以上の者で、福岡県に現住所を有し、厚生事務次官通知による療育手帳の交付を受けた者、あるいはその取得の対象に準ずる障がいのある者

イ 県内の知的障がい者施設や特別支援学校等に入所、通所及び通学している者

(3) チーム編成

1 チームのチーム構成はコーチ、アシスタントコーチ、マネージャーを含む役員3名以内、選手12名以内とする。

※コーチ、マネージャーもベンチに入ることができる。

(4) 競技規則

適用する競技規則は、令和8年度の（公財）日本パラスポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則集」及び監督会議等による申し合わせとする。

(5) 競技方法

ア 競技規則に基づき、選手は全員同じユニフォームを着用する。ただし、チームによって困難な場合は、ビブス等で対応する。

イ 試合球は男子は7号球、女子は6号球を使用する。

ウ リーグ戦又はトーナメント方式で行い、組合せは抽選により決定する。

エ 試合時間は1ピリオド8分のクォーター。

得点と同点の場合は得失点差にて勝敗を決定する。

オ この要項に定めるもののほか、大会実施に関して必要な事項は、各チームの代表者で協議し、決定する。

(6) そ の 他

ア 競技中に事故が発生した場合の治療費は、原則として競技者の負担とし、主催者は応急の処置のみを行うものとする。なお、主催者において傷害保険に一括加入する。

イ 大会においては、報道機関が来場し、個人情報について報道されることが予想される。よってこれらのことを了承のうえで申込みを行う。

4 参加申込

(1) 申 込 先

（一社）福岡県障がい者スポーツ協会（担当者：染谷・吉森）

〒816-0804 春日市原町3丁目1番7

TEL：092-582-5223 FAX：092-582-5228

E-mail：info@f-psa.jp

(2) 申込締切日

令和8年7月31日（金）

5 参 加 料 無料

車いすバスケットボール競技

1 期 日 令和8年9月20日(日)

2 会 場 福岡市総合体育館

3 実施要項

(1) 種 別

車いすバスケットボール(男女・健常者混合)

(2) 体験会参加資格

福岡県内在住で障がいの有無にかかわらず興味関心のある方

(3) 内 容

福岡県内を拠点に活動している車いすバスケットボールチーム「北九州足立クラブ」と「ライジングゼファーフクオカ Wheelchair」によるデモンストレーションと体験会

4 参加申込

(1) 申込み及び問合せ先

(一社)福岡県障がい者スポーツ協会(担当者:染谷・吉森)

〒816-0804 春日市原町3丁目1番7

TEL:092-582-5223 FAX:092-582-5228

E-mail:info@f-psa.jp

(2) 申込締切日

令和8年7月31日(金)

5 参加料 無料

バレーボール競技

- 1 期 日 令和8年9月19日(土)・20日(日)
- 2 会 場 19日(土) 青年男子：城山中学校体育館
 青年女子：中央中学校体育館
- 20日(日) 一般男子：とびうめアリーナ、
 一般女子：新宮中学校、新宮東中学校
 壮年女子：大野城市総合体育館、大野城市東コミュニティセンター
 大野城市北コミュニティセンター

3 実施要項

- (1) 種 別
 青年男子、青年女子、一般男子、一般女子、壮年女子
- (2) チーム編成
 1チーム監督1名、選手15名以内、コーチ、マネージャーもベンチに入ることができる。
 郡市単位、政令市は区単位で編成
- (3) 競技方法
 9人制・トーナメント式
- (4) 競技規則
 令和8年度(公財)日本バレーボール協会・9人制競技規則による。ただし、ネットの高さ及び使用球(メーカー)は次のとおりとする。

種別 区分	青年男子	青年女子	一般男子	一般女子	壮年女子
ネットの高さ	2m38cm	2m15cm	2m38cm	2m05cm	2m05cm
使用球	5号球 カラー	5号球 カラー	5号球 カラー	4号球 カラー	4号球 白
メーカー	ミカサ	モルテン	ミカサ	モルテン	ミカサ

- (5) その他
- ア 参加チームはユニフォームに必ず郡市名を明示すること。
- イ 競技者のユニフォームは胸部及び背部の中央に、胸部は高さ15cm以上、背部は高さ20cm以上で字幅2cm以上のユニフォームの色と異なる対照的な色の1から15までの番号が望ましい。
 また、選手登録に変更がある場合は、エントリー受付の際、所定の用紙に記入・捺印のうえ、提出すること。
- ウ 監督・コーチ・マネージャーは、規程のマークを左胸部に付け、プレーヤーと違うチームで統一されたトレーニングウェアを着用することが望ましい。キャプテンはユニフォームの胸の番号の下に、ユニフォームと異なった色の長さ8cm、幅2cmのマークを付けること。
- エ 一般男子チームについて、平成8年4月1日以降に出生した選手は、出場選手の1/2の参加を認めるが、3cm×5cmの赤布を左胸下に縫い付けておくこと。もし、これを付けていない場合は失格とする。
 青年の部において、国際競技大会、国民スポーツ大会、SV・Vリーグ、全国6人制VB総合優勝大会に出場した者の参加は認めない。
- オ 補助委員は、第1試合については第3試合のチームより4名ずつ(組み合わせによっては変更となる場合もあるため、会場で必ず確認すること)、第2試合からは、敗者のチームより8名(線審、点示、記録)出す。
 ※競技規則は令和8年度(公財)日本バレーボール協会9人制競技規則及び競技要項に基づく。
 なお、壮年女子については、「ママさんバレーガイドライン2010」に基づく。

■バレーボール競技（障がい者（精神）の部）

1 期 日 令和8年9月20日（日）

2 会 場 大野城市総合体育館

3 実施要項

(1) 種 別

バレーボール（男女混合）

(2) 参加資格（次の要件の全てを満たす者）

当該年度4月1日現在13歳以上の者で、福岡県に現住所（福岡県に所在する学校、施設等を含む。）を有し、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第45条により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者。あるいは、その取得に準ずる障害のあるもの。

(3) チーム編成

ア 監督、コーチ、マネージャー各1名とし、選手は12名以内とする。

(4) 競技方法

ア 令和8年度版全国障害者スポーツ大会競技規則に定めるものとする。その他詳細の取り決めについて、監督会議の申し合わせによる。

イ 試合は6人制で行い、男女混合とする。また、試合中は少なくとも1名以上の女性プレイヤーが出場しなければならない。

ウ リベロプレイヤーの登録を行うことができる。ただし、最大2名までとし、リベロプレイヤーは他の選手と異なるユニフォームを着用しなければならない。

エ 3セットマッチとし、2セットを先取したチームを勝ちとする。

オ 1セット25点のラリーポイント制とする。なお得点が「24対24」の同点となった場合は、それ以降2点リードしたチームがそのセットの勝者とする。

カ 試合は、ワンボールシステムで行う。

(5) 競技の服装等

ア 選手は競技用ユニフォームを着用すること。チームによって困難な場合は、ビブス等を着用すること。ただし、ビブスの貸出は行わない。

イ 背番号は1番から12番までが好ましい。

(6) ネットの高さと用具

ア ネットの高さは2.24mとする。

イ 使用するボールは、日本ソフトバレーボール連盟公式球ソフトバレーボール球糸巻きタイプ（モルテン製円周78±1cm、重量210g±10g）とする。

(7) その他

ア 競技運営補助としてチームよりスタッフ1名の配置をお願いいたします。

イ この要項に定めるもののほか、大会実施に関して必要な事項は、各チームの代表者、で協議し、決定する。

4 参加申込

(1) 申込先

（一社）福岡県障がい者スポーツ協会（担当者：染谷・吉森）

〒816-0804 春日市原町3丁目1番7

TEL：092-582-5223 FAX：092-582-5228

E-mail：info@f-psa.jp

(2) 申込締切日

令和8年7月31日（金）

5 参加料 無料

ソフトテニス競技

1 期 日 令和8年9月19日(土) 壮年
令和8年9月20日(日) 一般

2 会 場 一般 県営名島運動公園
壮年 県営名島運動公園

3 実施要項

(1) 種 別

一般の部

壮年の部(45歳以上)※令和8年4月1日現在の満年齢

(2) チーム編成

一般の部 監督-1名(選手は監督を兼ねることができる)

選手-男子6名以内、女子4名以内(但し、総数8名以内)とする。

郡市単位で編成

壮年の部 公開競技として団体戦で実施

監督-1名(選手は監督を兼ねることができる)

選手-男子6名以内、女子4名以内(但し、総数8名以内)とする。

1郡市1チーム、政令市は4チーム以内、久留米市は2チーム以内

男子複 45ペア (45歳以上)

女子複 45ペア (45歳以上)

男子複 55ペア (55歳以上)

※年齢の高い区分の選手が、年齢の低い区分に参加することは認める。

(3) 競技方法

申込数によって、リーグ戦又はトーナメント戦のいずれか、または、その両者併用で行う。

(4) 競技規則

ア 令和8年度の日本ソフトテニス連盟のルールブックで行う。

イ 選手の入替えを監督も含め、試合ごとに決める。

(5) 使用球

ケンコーボール

(6) 注意事項

ア 服装は上下テニスのユニフォームとし、シューズはテニスシューズとする。

イ ゼッケンは郡市名を記入し、背部につけること。

A4サイズ

(例)

〇〇市

卓 球 競 技

1 期 日 令和8年9月19日(土) 壮年の部・一般の部・青年の部

2 会 場 粕屋町総合体育館(かすやドーム)

3 実施要項

(1) 種 別

一般の部

青年の部

壮年の部

(2) チーム編成

一般の部及び青年の部・1チーム監督1名、選手男女各3名以内

壮年の部・1チーム監督1名、選手男女各4名以内

郡市単位、政令市は区単位で編成

(3) 競技方法

青年及び一般の部はトーナメント方式とし、壮年の部は3~4チームのリーグ、1位による決勝トーナメント方式とする。(但し出場数によりトーナメント方式とすることがあります)

<試合の順序>

【一般の部・青年の部】

①女子シングルス ②男子シングルス ③混合ダブルス

④女子シングルス ⑤男子シングルス

【壮年の部】

① 60歳以上男子シングルス ②60歳以上女子シングルス ③50歳以上混合ダブルス

④ 60歳以上女子シングルス ⑤60歳以上男子シングルス

(①と②に出場した選手だけで③の混合ダブルスの編成はできない。①か⑤のどちらかと、②か④のどちらかに、それぞれ70歳以上の選手を1人ずつ入れること。)

試合は、一般の部・青年の部については、トーナメント初戦のみ最後まで行う。

壮年の部については、リーグ戦は最後まで行う。

トーナメントは3点先取とする。

(4) 競技規則

ア 一般・青年の部(硬式): 現行の日本卓球ルールによる。

壮年の部(ラージボール): 現行のラージボール卓球ルール(競技大会ルール)による。

① 競技方法 10:10以降は2ポイント差とする。

② サービス 16cm以上上げる。

イ 試合球

一般の部・青年の部(硬式)・・・JTTA公認プラスチック球40mmホワイトを使用する。

壮年の部(ラージボール)・・・JTTA公認プラスチック球44mmを使用する。

(5) 注意事項

ア 選手はゼッケンを必ず着用すること。

イ ゼッケンの上側2/3に名字、下側1/3に郡市名を明記すること。



■卓球競技（障がい者の部）

1 期 日 令和 8 年 9 月 19 日（土）

2 会 場 粕屋町総合体育館（かすやドーム）

3 実施要項

(1) 種 目

ア 男子シングルス

イ 女子シングルス

ウ 男子車椅子（申込みが 2 名以下の場合、男子シングルス混合とする）

エ 女子車椅子（申込みが 2 名以下の場合、男女車椅子混合とする）

(2) 参加資格

当該年度 4 月 1 日現在 13 歳以上の者で障がい者手帳の交付を受けた県内在住の卓球愛好者

(3) 競技方法

3～4 人 1 組による予選リーグを行い、予選リーグ 1 位による決勝トーナメントを行う。

3 位決定戦は行わない。なお、車椅子にあつては参加人数によりリーグ戦で順位を決定する場合がある。

(4) 競技規則

同年度の（公財）日本卓球協会が制定した日本卓球ルール及び大会申し合わせ事項による。1 ゲーム 11 点、5 ゲームマッチ、タイムアウト制は適用しません。

(5) その他

ア 試合球は、日本卓球協会公認「プラスチック 40 ミリボール」ニッタク

イ 服装は、（公財）日本卓球協会公認したマークの付いたユニフォームを着用すること。ただし、ボールと同じ白色の服装は競技に支障をきたすため、着用は認められない

ウ この要項に定めるもののほか、大会実施に関して必要な事項は、関係者で協議し、主催者で決定する。

4 参加申込

「福岡県障がい者スポーツ協会」ホームページより申込書をダウンロードし、必要事項を記入のうえ郵送、FAX またはメールにて申込みください。

(1) 申込及び問合せ先

（一社）福岡県障がい者スポーツ協会（担当者：染谷・吉森）

〒816-0804 春日市原町 3 丁目 1 番 7

TEL：092-582-5223 FAX：092-582-5228

E-mail：info@f-psa.jp

(2) 申込締切日 令和 8 年 7 月 31 日（金）

5 参 加 料

17 歳以下は 200 円、18 歳以上は 500 円（高校生は 200 円）とする。

大会当日の受付時に徴収するもの。

バドミントン競技

- 1 期 日 令和8年9月20日(日)
2 会 場 一般男女：篠栗町合併50周年記念体育館
青 年：津屋崎中学校体育館
壮年男女、壮年混成男女、障がいのある方の部：春日市総合スポーツセンター

3 実施要項

- (1) 種 別
一般男子の部、一般女子の部、壮年男子の部、壮年女子の部、青年の部、壮年混成男女の部
- (2) チーム編成
一般男子の部・・・1チーム監督1名、選手6名以内
監督は選手と兼ねることができる
郡市単位、政令市は区単位で編成
一般女子の部・・・1チーム監督1名、選手7名以内
監督は選手と兼ねることができる
郡市単位、政令市は区単位で編成
壮年男子・女子の部・・・1チーム監督1名、選手7名以内
監督は選手と兼ねることができる
郡市単位で編成
青年の部・・・1チーム監督1名、選手男女各3名以内
監督は選手と兼ねることができる
郡市単位、政令市は区単位で編成
壮年混成男女の部・・・1チーム監督1名、選手男女各3名以内
監督は選手と兼ねることができる
郡市単位で編成
- (3) 競技方法
ア 一般男子・女子の部、壮年男子・女子の部、壮年混成男女の部・・・パート別トーナメント式
青年の部・・・トーナメント式
イ 一般男子の部の試合順は、複・複・単で行い、同一選手が1対抗戦中重複して出場することはできない。なお、大会当日、選手が5人揃わない場合でも、2試合成立すれば大会に参加できる。この場合、事前に対戦チームにその旨を伝えておくこと。初回戦では、2試合を終えた後、正式人数側が承諾すれば残りの試合をオープン試合として良い。
ウ 一般女子、壮年男子、壮年女子の部は、複の3試合とし、同一選手が1対抗戦中重複して出場することはできない。なお、大会当日、選手が6名そろわず複の3試合が行えない場合でも、4名以上であれば大会に参加できる。その場合、事前に対戦チームにその旨を伝えておくこととし、団体試合は第一複の1敗から始まる。初回戦では、2試合を終えた後、正式人数側が承諾すれば残りの試合をオープン試合として良い。
エ 青年・壮年混成男女の部は、女子複・男子複・混合複の順で行い、その内2試合を得た方が勝ちとする。なお、混合複は重複出場もできる。また、大会当日、選手が4人揃わない場合でも、2試合成立すれば大会に参加できる。この場合、事前に対戦チームにその旨を伝えておくこと。
オ 初回戦のみ全試合行う。
- (4) 競技規則
令和8年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程による。
なお、得点については、シングルス・ダブルスともに1ゲーム21点、2ゲーム先取の3ゲームで行う。※延長(30点)あり。
- (5) 試合シャトル
令和8年度(公財)日本バドミントン協会検定合格水鳥球(ヨネックスF80・ニューオフィシャル)シャトルを使用する。
- (6) 注意事項
ア 服装は、(公財)日本バドミントン協会審査合格品とする。
イ 背面プリントまたはゼッケン(白布に黒字)で郡市名を明記すること。
ウ 監督が選手を兼ねて出場する場合は、選手の欄にも名前を記入すること。

(例)



■バドミントン競技（障がい者の部）

1 期 日 令和8年9月20日（日）

2 会 場 春日市総合スポーツセンター

3 実施要項

(1) 種 別

車いすの部、立位の部（身体、知的、精神）

(2) 参加資格

県内在中のバドミントン愛好者（車いすの部のみ健常者参加可）

※競技用車いすの貸し出し可

(3) 競技方法

車いす、立位（身体・知的・精神）の障がい区分ごとにシングルのリーグ戦を行う。

※参加状況により、立位の部はクラスを統合する場合がございます。

(4) 競技規則

ア 令和8年度（公財）日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程及び公認審判規程による。

なお、勝敗については21点マッチ2ゲーム先取とする。打ち切りで延長なし。

イ 令和8年度（公財）日本バドミントン協会検定合格水鳥球シャトルを使用する。

ウ 順位については、リーグ戦を行い、勝敗→得失点差の順位を決定する。各部において決勝トーメントを行い、順位を決定する。3位決定戦は行わない。

(5) 表 彰

各部において、1位から3位までを表彰する。

(6) そ の 他

ア 本試合は健常者も原則車いすの部での出場を認める。

イ 競技車、義足、その他のサポート器具に関して規定を定めませんが、試合での安全については最善の注意を図る。

4 参加申込

(1) 申 込 先

（一社）福岡県障がい者スポーツ協会（担当者：染谷・吉森）

〒816-0804 春日市原町3丁目1番7

TEL：092-582-5223 FAX：092-582-5228

E-mail：info@f-psa.jp

(2) 申込締切日

令和8年7月31日（金）

5 参加料 無料

柔 道 競 技

1 期 日 令和8年9月19日(土)

2 会 場 宇美町立武道館

3 実施要項

(1) 種 別

一般男子 (5人制)

青年男子 (5人制、3人制)

(2) チーム編成

[5人制]

監督1名、選手5名で編成する。

一般男子…4段以下5名

郡市単位、政令市は区単位で編成

青年男子…先鋒(73kg以下)、四将及び中堅(90kg以下)、副将及び大将(無差別)

郡市単位、政令市は区単位で編成

[3人制]

監督1名、選手3名で編成する。

青年男子…先鋒(73kg以下)、中堅(90kg以下)、大将(無差別)

郡市単位、政令市は区単位で編成

※各郡市3人制・5人制合わせて2チームまで出場可。(いずれかのみ2チームも可)

※学生の参加は、5人制：2名以内 3人制：1名以内 とする。

(3) 競技方法

点取りトーナメント式

試合時間4分

同率同内容の場合は、引き分けの対戦から抽選で代表戦を行い、必ず勝敗を決する。

※青年男子の順位決定

5人制・3人制は、それぞれ1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とし、その合計点数により総合順位を決定する。同点の場合は、次の順位のものに加え、当該郡市で等分する。ただし、表彰については、5人制・3人制それぞれ行う。

(4) 競技規則

国際柔道連盟試合審判規定(最新の審判規定を採用)。

2026年全日本柔道連盟に登録した者。

(5) 注意事項

ア 一般において、選手の配列は段の順位とする。

イ 競技に際し、柔道衣(背中)には、必ず所属郡市名及び姓名を下の図のように縫い付けること。

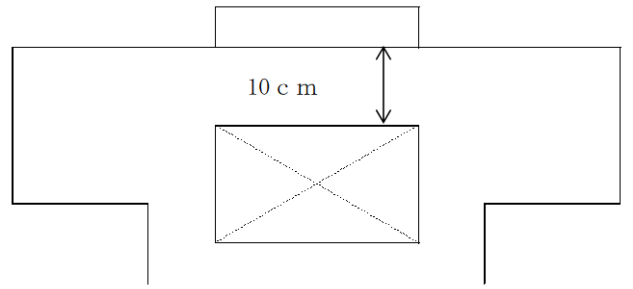
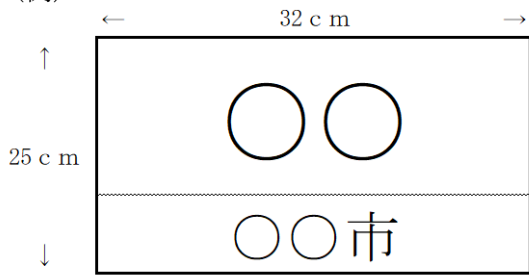
ウ 布地は白色

エ 名字(姓)は上側の3分の2

所属郡市は下側の3分の1

オ 書体は太いゴシック(楷書)黒色で書く。

(例)



■柔道競技（障がい者（視覚）の部）

- 1 期 日 令和 8 年 9 月 19 日（土）
- 2 会 場 宇美町立武道館
- 3 内 容 視覚障害者柔道の体験（30 分間）
講師等 調整中

(1) 視覚障害者と視覚障害者柔道について → 5 分

J1（全盲：視力 0.0025 より悪い）

J2（弱視：両眼視で 0.0032 から 0.05 以内の視力または、視野直径 60 度以下）

(2) ルールについて → 5 分

ア 選手の誘導方法

イ 最初の組み方

ウ 「待て」の後の「組み方」

エ 「場外」「指導」「技あり」等の選手への伝え方

(3) 体験練習（KUNDE 柔道） → 20 分

実際に動いて体験

- ・稽古を始める前にやっておくこと
- ・準備体操の時には
- ・乱取りの際に気を付ける点
- ・技をどう教えるか

(4) 練習場所の協力依頼

剣道競技

1 期 日 令和8年9月20日(日)

2 会 場 須恵中学校体育館

3 実施要項

(1) 種 別

一般男子、一般女子、青年男子、青年女子

(2) チーム編成

一般男子	<ul style="list-style-type: none">・監督1名、年齢順に選手5名(25歳以下、26歳以上35歳以下、36歳以上45歳以下、46歳以上54歳以下、55歳以上 各1名)・郡市単位、政令市は区単位で編成※当該年齢者がいない場合、上の年齢者を充当してもよい。
一般女子	<ul style="list-style-type: none">・監督1名、選手3名(大将の年齢は40歳以上)・郡市単位、政令市は区単位で編成
青年男子	<ul style="list-style-type: none">・監督1名、選手5名・郡市単位、政令市は区単位で編成・青年男子の大将は30歳代の者とする。・監督は選手を兼ねることができる
青年女子	<ul style="list-style-type: none">・監督1名、選手3名・郡市単位、政令市は区単位で編成・監督は選手を兼ねることができる

※青年男子・女子年齢制限

1991(平成3)年4月2日から2008(平成20)年4月1日までに出生した者

(3) 競技方法

トーナメント式。

(4) 競技規則

試合は、全日本剣道連盟剣道試合審判規則・同細則、および本大会実施要綱による。

(5) 大会実施要綱

試合は、男女とも4分3本勝負とし、時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとする。

勝者数、取得本数とも同数の場合は、最初に引き分けた者によって代表選を行う。

代表選は、4分1本勝負とし、時間内に勝敗が決しない場合は、3分区切りの延長戦を勝負決するまで行う。

(6) 注意事項・安全対策

- ・年齢については、申込み締切時点（令和8年7月29日（火））の年齢とする。
- ・出場チームは、それぞれ紅白の目印及び、オーダー表（※様式は、別紙のとおり）を持参すること。
- ・出場選手は、必ず垂に所属郡市名及び姓を記入した布製の名札を着用すること。
- ・参加する全ての人は、係員の誘導に従って行動すること。
- ・食事の空箱・ペットボトル・持参した物など、ごみは必ず持ち帰ること。会場内で捨てないこと。
- ・本要項については、「第74回全国青年剣道大会実施要項」に基づいて内容を変更する場合がある。
- ・出場選手は、各自十分健康管理に留意し本大会に参加すること。
- ・主催者において、大会実施中傷害発生の場合は、看護師により応急措置を講じ、病院等で治療を受けられるよう手配する。この場合の治療費は自己負担とする。なお、主催者は傷害保険に加入する。選手は、健康保険証を持参のこと。
- ・出場選手は、試合中必ず面マスクか口の部分を覆う面シールドを着用すること。

(7) 大会出場に関する制限

・青年男女の部

過去において次の大会に選手として出場（エントリー含む）した者、及び本年度選手として出場が決定若しくは内定している者は出場できない。

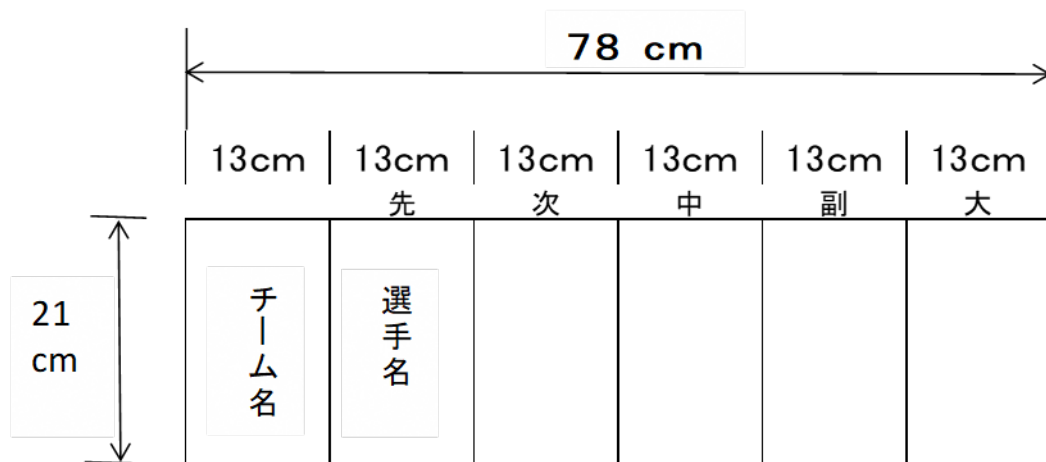
【国際競技大会、全日本選手権大会、国民体育・スポーツ大会、全国教職員大会
全日本都道府県対抗大会、全国警察大会】

・一般男女の部

令和7年度に選手として次の大会に出場した者、及び本年度選手として出場が決定若しくは内定している者は出場できない。

【全日本選手権大会、国民スポーツ大会、全国教職員大会、全日本都道府県対抗大会】

オーダー表（別紙）



〇3人制の試合では、次鋒と副将の欄を空白にして大きさは78cmにして下さい。

弓 道 競 技

1 期 日 令和8年9月20日(日)

2 会 場 博多の森弓道場

3 実施要項

(1) 種 目 近的競技、遠的競技

(2) 種 別 一般男子、一般女子、青年

(3) チーム編成

一般男子・・・監督1名、選手3名(補欠1名を認める) 郡市単位、政令市は区単位で編成

一般女子・・・監督1名、選手3名(補欠1名を認める) 郡市単位、政令市は区単位で編成

青 年・・・監督1名、選手3名(男子・女子・混合、いずれも可、補欠1名を認める)

郡市単位、政令市は区単位で編成

選手として段級の制限はないが、称号を有する者は除く。

ただし、申し込み後の称号取得者については出場を認める。

(4) 競技方法

ア 近的競技

(ア) 各種別とも36cm霞的を用い、28mの射距離にて的中制とする。

(イ) 各自4射1回(4射)を行い、各種別とも最高の中チームより8位までを決める。

(ウ) 同中の場合、優勝チーム決定は射詰(各自1射)競射、以外は同位とする。

順位得点は、1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点、以下0点とする。同順の場合は下位の得点を加え等分する。

イ 遠的競技

(ア) 各種別とも100cm得点的を用い、60mの射距離にて得点制とする。

(イ) 各自4射1回(4射)を行い、各種別とも最高得点チームより8位までを決める。

(ウ) 同点の場合、優勝チーム決定は的中数の多いチームを上位とする。それでも同点の場合は、最高得点の多いチームを上位とし、それ以外は同位とする。

順位得点は、1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点、以下0点とする。同順の場合は下位の得点を加え等分する。

ウ 競技順

一般男子：遠的競技終了後近的競技 一般女子及び青年：近的競技終了後遠的競技
近的競技・遠的競技を同時進行で実施する。

エ 総合成績・表彰

(ア) 近的競技、遠的競技についての順位得点を合計して各種別8位までの順位を決定する。
各種別の3位までに賞状、各種別の総合優勝には優勝盾を授与し、表彰する。

(イ) 総合得点が等しい場合は、的中数の多いチームを上位とする。更に同数の場合は、同位のままとする。ただし、総合優勝については近的競技による射詰め(各自1射)競射を行う。

(ウ) 郡市の競技得点は、各種別上記の総合順位により、1位40点、2位35点、3位30点、4位25点、5位20点、6位15点、7位10点、8位5点、以下0点とする。
同順の場合は下位の得点を加え等分する。

(5) 競技規則 (公財)全日本弓道連盟の競技規則による。

(6) 選手の変更・交代

- ・選手の変更は、やむを得ない変更理由が大会委員長に承認された場合に限り、所定の選手変更届を提出することにより認める。提出期限は、当日8時30分までとする。但し、受付時において1チーム3名に満たない場合は団体と認めず、オープン参加となる。
- ・補欠選手と正選手との交代は、1チーム1回に限り認める。ただし、選手控えに入る前までに

所定の様式を用いて記録委員に提出すること。

(7) その他

(ア) 日本和弓を使用すること。

(イ) 矢返しはしないので4矢及び予備矢を準備すること。

相 撲 競 技

1 期 日 令和8年9月19日(土)

2 会 場 福岡久山相撲場

3 実施要項

(1) 種 別

一般男子

青年男子

個人(公開競技)

(2) チーム編成

一般男子・・・1チーム監督1名、選手3名(2チームまで出場できる)

郡市単位

青年男子・・・監督1名、選手5名

郡市単位

(3) 競技方法

【団体】

一般、青年ともに予選3回を行う。

① 参加チームが11チーム以下8チーム以上の場合には得点の多い4チームを選出し、決勝トーナメント戦を行い決定する。

② 参加チームが12チーム以上の場合には得点の多い8チームを選出し、決勝トーナメント戦を行い決定する。

③ 参加チームが7チーム以下の場合には、リーグ戦を行い決定する。

【個人】

一般、青年に出場した者も出場できる。

予選トーナメント、決勝トーナメントを行い決定する。

(4) 競技規則

日本相撲連盟競技会規程並びに審判規程

※第15条3 手を瞬間的につく「立合い」は、認められない。

第38条主審動作(3) 両選手が「蹲踞」して呼吸を調えるのを確かめ、「構えて」の掛声をかけ、両足を1歩半引いて開脚する。次に「両手を同時について」と声をかけ、膝を軽く曲げるとともに両腕の手のひらを内側に向けて軽く伸ばし、両選手が手をついたことを確認してから「引きますよ」と声をかける。続いて「ハッケヨイ」の「掛声」によって立ち合わせる。

(5) その他

郡市の識別を明らかにするため、相撲褌にゼッケンを付けること。

なお、有段者は段位章を着用すること。

ソフトボール競技

1 期 日 令和8年9月20日(日)

2 会 場 雁ノ巣レクリエーションセンター・今津運動公園

3 実施要項

(1) チーム編成

ア 監督 1名、選手 17名以内

※監督が選手を兼ねる場合は選手名簿に記載すること。

イ 郡市単位、政令市は区単位で編成

(2) 競技方法

ア トーナメント方式とする(パート毎に決勝を行い、3位決定戦は行わない)。

イ 試合時間を70分とする。70分を過ぎて新しい回には入らない。

7回終了時(時間内)で同点の場合は、8回からタイブレークを適用する。

70分経過時同点の場合はタイブレークで上位進出を決める。

ウ 5回以降7点差の場合、点数差によるコールドゲームを適用する。

(3) 競技規則

原則として「2026年オフィシャルソフトボールルール」により実施するが、これに特別ルールを規定して準用する。

(4) 試合球

ゴム製12インチ検定球とする。

(5) 参加上の注意

ア 監督、選手のユニフォームは同色、同意匠であることが望ましい。

背中に次の番号を付けなければならない(15cm以上とする)。

監督 30 主将 10 選手 1~99

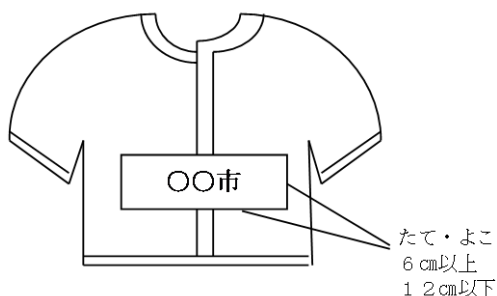
なお、ユニフォームの胸に郡市名の表記(アルファベット表記可)がない場合、郡市名のゼッケンを付けること(6cm以上12cm以下とする)。

イ 危険防止のため、金属スパイクは使用禁止。

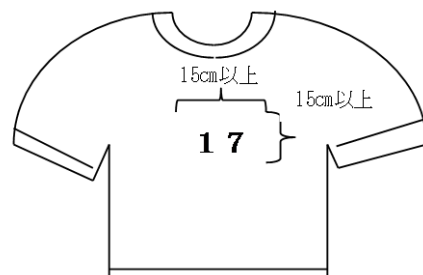
打者、走者は両耳あて付きヘルメットを着用しなければならない。

ウ 捕手は、ヘルメット・スロートガード付きマスク・膝当て付きレガース・プロテクターを着用しなければならない。

(例)



(前)



(後)

■ソフトボール競技（障がい者（知的）の部）

1 期 日 令和8年9月20日（日）

2 会 場 雁の巣レクリエーションセンター

3 実施要項

(1) 参加資格

- ア 当該年度4月1日現在13歳以上の男子で、福岡県に現住所を有し、厚生事務次官通知による療育手帳の交付を受けた者、あるいは、その取得の対象に準ずる障がいのある者。
- イ 県内の知的障がい者施設及び特別支援学校等に入所または通所及び通学している者。

(2) チーム編成

監督1名、コーチ2名、登録選手15名以内とする。

(3) 競技方法

原則として「日本ソフトボール協会規則」により実施するが、これに特別ルールを規定して準用する。

(4) その他

- ア 競技規則に基づき、試合球は3号球を使用する。
- イ バットは3号のソフトボール用バットを使用する。ただし、金属製スパイクピンの使用は認めない。
- ウ ミットは捕手及び一塁手のみ使用できる。
- エ 服装は運動ができる同色同型のものとし背番号を付ける。背番号はポジションに関係なく自由とする。
- オ キャッチャーは、マスク、スロートガード、ヘルメットを必ず着用すること。
- カ この要項に定めるもののほか、大会実施に関して必要な事項は、各チームの代表者で協議し決定する。

4 参加申込等

(1) 申込先

（一社）福岡県障がい者スポーツ協会（担当者：染谷・吉森）
〒816-0804 春日市原町3丁目1番7
TEL：092-582-5223 FAX：092-582-5228
E-mail：info@f-psa.jp

(2) 申込締切日

令和8年7月31日（金）

5 参加料 無料

ソフトボール競技

1 期 日 令和8年9月20日(日)

2 会 場 雁ノ巣レクリエーションセンター・今津運動公園

3 実施要項

(1) チーム編成

ア 監督 1名、選手 17名以内

※監督が選手を兼ねる場合は選手名簿に記載すること。

イ 郡市単位、政令市は区単位で編成

(2) 競技方法

ア トーナメント方式とする(パート毎に決勝を行い、3位決定戦は行わない)。

イ 試合時間を70分とする。70分を過ぎて新しい回には入らない。

7回終了時(時間内)で同点の場合は、8回からタイブレークを適用する。

70分経過時同点の場合はタイブレークで上位進出を決める。

ウ 5回以降7点差の場合、点数差によるコールドゲームを適用する。

(3) 競技規則

原則として「2026年オフィシャルソフトボールルール」により実施するが、これに特別ルールを規定して準用する。

(4) 試合球

ゴム製12インチ検定球とする。

(5) 参加上の注意

ア 監督、選手のユニフォームは同色、同意匠であることが望ましい。

背中に次の番号を付けなければならない(15cm以上とする)。

監督 30 主将 10 選手 1~99

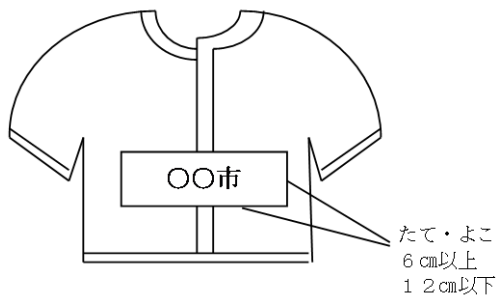
なお、ユニフォームの胸に郡市名の表記(アルファベット表記可)がない場合、郡市名のゼッケンを付けること(6cm以上12cm以下とする)。

イ 危険防止のため、金属スパイクは使用禁止。

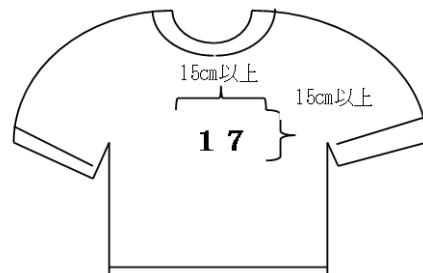
打者、走者は両耳あて付きヘルメットを着用しなければならない。

ウ 捕手は、ヘルメット・スロートガード付きマスク・膝当て付きレガース・プロテクターを着用しなければならない。

(例)



(前)



(後)

■ソフトボール競技（障がい者（知的）の部）

1 期 日 令和8年9月19日（土）

2 会 場 雁の巣レクリエーションセンター

3 実施要項

(1) 参加資格

- ア 当該年度4月1日現在13歳以上の男子で、福岡県に現住所を有し、厚生事務次官通知による療育手帳の交付を受けた者、あるいは、その取得の対象に準ずる障がいのある者。
- イ 県内の知的障がい者施設及び特別支援学校等に入所または通所及び通学している者。

(2) チーム編成

監督1名、コーチ2名、登録選手15名以内とする。

(3) 競技方法

原則として「日本ソフトボール協会規則」により実施するが、これに特別ルールを規定して準用する。

(4) その他

- ア 競技規則に基づき、試合球は3号球を使用する。
- イ バットは3号のソフトボール用バットを使用する。ただし、金属製スパイクピンの使用は認めない。
- ウ ミットは捕手及び一塁手のみ使用できる。
- エ 服装は運動ができる同色同型のものとし背番号を付ける。背番号はポジションに関係なく自由とする。
- オ キャッチャーは、マスク、スロートガード、ヘルメットを必ず着用すること。
- カ この要項に定めるもののほか、大会実施に関して必要な事項は、各チームの代表者で協議し決定する。

4 参加申込等

(1) 申込先

（一社）福岡県障がい者スポーツ協会（担当者：染谷・吉森）
〒816-0804 春日市原町3丁目1番7
TEL：092-582-5223 FAX：092-582-5228
E-mail：info@f-psa.jp

(2) 申込締切日

令和8年7月31日（金）

5 参加料 無料

ブラインドベースボール競技

- 1 期 日 未定 ※9月は別の大会と重なっているため、対応不可。
- 2 会 場 未定 ※福岡県立高等視覚特別支援学校で検討
- 3 実施要項
 - (1) 種 別
ブラインドベースボール
 - (2) 参加資格
県内在住の興味関心のある方
 - (3) 内 容
福岡県盲人協会ソフトボール部によるエキシビジョンマッチと体験会
- 4 参加申込
 - (1) 申 込 先
(一社)福岡県障がい者スポーツ協会 (担当者: 染谷・吉森)
〒816-0804 春日市原町3丁目1番7
TEL: 092-582-5223 FAX: 092-582-5228
E-mail: info@f-psa.jp
 - (2) 申込締切日
未定
- 5 参 加 料 無料

空 手 道 競 技

1 期 日 令和8年9月20日(日)

2 会 場 糸島市運動公園多目的体育館

3 実施要項

(1) 種 別

ア 男子団体組手

イ 男子個人組手(公開競技)

一般の部、壮年の部

ウ 女子個人組手

一般の部、壮年の部

エ 男子個人形(公開競技)

一般の部、壮年の部

オ 女子個人形

一般の部、壮年の部

(2) チーム編成

ア 団体戦は、監督1名、選手3名、補欠1名(3人制)

イ 郡市単位、政令市は区単位で編成(男子)

(3) 競技方法

ア 形、組手ともにトーナメント方式で行う。

イ (公財)全日本空手道連盟のマットを使用する。

(4) 競技規則

(公財)全日本空手道連盟の競技規程及び申合せ事項を適用する。

(5) 参加上の注意

ア (公財)全日本空手道連盟指定の安全具(ニューメンホー、胴プロテクター、シンガード(赤・青)、インステップガード(赤・青))・拳サポーターは赤青のものを使用する。

また、男性はセーフティーカップを着用すること。

イ 区郡市名の胸マークは必ずつけること。

(6) 表 彰

各種目1位から3位までとする。

(7) その他

区郡市胸マークは、横10cm×縦18cmとする。

テニ ス 競 技

1 期 日 令和8年9月19日(土)

2 会 場 博多の森テニス競技場 (砂入り人工芝コート)

3 実施要項

(1)種 目

一般の部

(2)チーム編成

参加選手は同一郡市に居住する者で、登録は6名以上8名以内とする(監督を除く)。

(3)競技方法

申込数によって、リーグ戦又はトーナメントのいずれか、またはその両者併用で行う。

(4)競技規則

令和8年度の日本テニス協会「テニスルールブック 2026」で行う。

(5)使用球

ダンロップフォート

(6)注意事項

ア 日本テニス協会の競技規則に定めたテニスウェアを着用のこと。

イ 郡市名の入ったテニスウェアの着用を認める。

ウ ゼッケンをつける場合は、郡市名を記入し背部につけること。

(例) A4 サイズ



4 その他

- すべてのプレーヤーを公平に扱います。
- 本要項は参加チームや天候等やむを得ない事情により変更されることがあります。

車いすテニス競技

1 期 日 令和8年11月8日(日)

受 付 : 午前 9:00～

開 会 式 : 午前 9:30～

試合開始 : 午前 10:00～

2 会 場 いいづかスポーツ・リゾートテニスコート(雨天時:屋内テニスコート)

3 実施要項

(1) 種 別

車いすテニスと健常者のミックスダブルス

(2) 参加資格

福岡県在住の障がい者:医学的に四肢のいずれかに運動機能障害が認められる方 — 12名

健 常 者:本大会の目的に賛同いただき、テニスを愛好される方 — 12名

(3) 競技方法

車いすのみ2バウンドまで有効とします。

6ゲーム先取 全試合ノーアド方式 試合使用球:未定

(4) 参加上の注意

ア 競技形式、方法については、参加人数や天候状況等により、主催者側で内容を変更する場合があります。

イ 組合せについては、当日抽選により決定します。

ウ 試合予定時間を厳守してください。また、円滑な競技進行のため競技委員の指示に従ってください。

4 参加申込

(1) 申 込 先

NPO 法人九州車いすテニス協会

〒820-0011 福岡県飯塚市柏の森 6-1

TEL : 0948-25-7144 FAX : 0948-25-7520

E-mail : info@japanopen-tennis.com

(2) 申込締切日 令和8年 未定

5 表 彰 参加者全員に参加賞を贈ります。

6 参 加 料 無料

ブラインドサッカー競技

1 期 日 未定

2 会 場 未定

3 実施要項

(1) 参加資格

(ア) 福岡県下の任意のチームで編成された中学生以上の者

(イ) 健康上、競技可能である者

(ウ) 未成年者は保護者の同意を得ること

(2) 競技形式

本大会は IBSA 競技規則（2022～2025）に準ずるものとする。

(3) その他

ユニフォーム・装具等については以下のとおりとする。

(ア) アイマスク、ヘッドギア、レガースは試合中の着用は必須とする。

(イ) シューズはサッカーに適したものを使用すること。

(ウ) スパイクの使用は禁止する。

4 参加申込

(1) 申込先

〒805-0013 北九州市八幡東区昭和1丁目1-5

特定非営利活動法人 北九州スポーツクラブACE

TEL : 093-863-6010 FAX : 093-863-6012

E-mail : staff@ace-sports.jp

(2) 申込締切日

未定

5 参加料 無料

車いすラグビー競技

- 1 期 日 令和8年9月19日(土)
- 2 会 場 クロスパルこが
- 3 実施要綱
 - (1) 種 別
車いすラグビー(男女・健常者混合)
 - (2) 体験会参加資格
福岡県内在住で興味関心のある方
 - (3) 内 容
福岡県内を拠点に活動している車いすラグビーチーム「Fukuoka DANDELION」による競技デモン
ストレーションと体験会
- 4 参加申込
 - (1) 申 込 先
(一社)福岡県障がい者スポーツ協会(担当者:染谷・吉森)
〒816-0804 春日市原町3丁目1番7
TEL:092-582-5223 FAX:092-582-5228
E-mail:info@f-psa.jp
 - (2) 申込締切日
令和8年8月28日(金)
- 5 参加料 無料

ボ ッ チ ャ 競 技

1 期 日 令和8年9月19日(土)

2 会 場 クローバープラザ アリーナ棟・2階体育館

3 実施要項

(1) 種 目 ※会場に広さに合わせて内容を検討してください。

チーム戦(3対3) 4エンドマッチ

(2) チーム編成

選手は同一郡市に居住する者で登録は5名まで、アシスタントも選手として登録を行う。

(3) 競技方法

申込数によって、リーグ戦又はトーナメントのいずれか、またその両者併用で行う。

(4) 競技規則

日本ボッチャ協会2021-2024V. 2. 1および大会申し合わせ事項による。

4 大会申し合わせ事項

(1) 出場資格について

小学生以上どなたでも参加可能

但し、スローイングボックスに入る3名の内、1名は障がいのある方が入ること

(2) ボールについて

ア マイボールの使用は可能です(規定内のボールに限る)。

イ ボールがない場合は、主催者で貸し出します。

(3) ランプについて

ア チームで用意したランプの使用は可能です。

※日本ボッチャ協会競技規則2021-2024 V. 2. 1 <https://www.japan-boccia.com/>をご確認ください。

イ 貸し出し用のランプは固定式ではありません。

(4) 介助について

ア 視覚障がい者の介助者は審判の指示によりコートの中に入り、カラーボールの位置またはジャックボールの位置を伝えてよいが、戦術を伝えることは出来ません。

イ 視覚障がい者はスローイングボックス内に投球位置が分かるよう印を付けることが可能です。

ウ 知的障がい者の介助者は順番やジャックボールの位置等を伝えることが可能です。また審判への申請によりコート内に1名入ることを認めます。

エ ランプの介助者は試合中にコート内を見ることができません。主審の指示があるまでコートに背を向けてください。

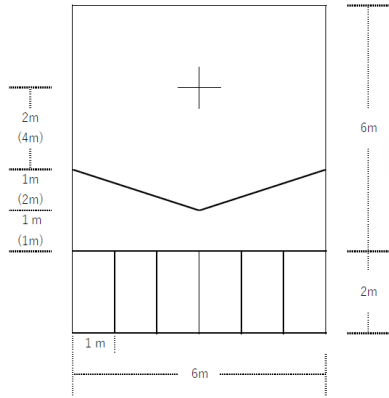
※ただし、ランプ使用選手が方向や高さ等を指示できない場合、介助者自身が方向を定めることに対しペナルティは取らない。

オ 介助者は選手を兼ねることができ、自チームのスローイングボックス間の移動が可能です。

(5) コートについて (図1)

ア スローイングボックスは2mで行います。ただしランプを使用する方は後ろのライン内車いすの一部が入っていたらOKとします。

図1



5 参加申込

(1) 申込先 ※申込先を福岡ボッチャ協会に変更できないか確認中。

(一社) 福岡県障がい者スポーツ協会 (担当者: 染谷・吉森)

〒816-0804 春日市原町3丁目1番7

TEL : 092-582-5223 FAX : 092-582-5228

E-mail : info@f-psa.jp

(2) 申込締切日

令和8年7月31日 (金)

6 参加料 無料

ライフル射撃

1 期 日 調整中

2 会 場 調整中

3 実施要項

(1) 内容

10mビームライフル(ビームピストル)の体験会

(2) 体験会参加資格

福岡県内在住の興味・関心のある方

4 参加申込

(1) 申込先

(一社) 福岡県障がい者スポーツ協会 (担当者: 染谷・吉森)

〒816-0804 春日市原町3丁目1番7

TEL: 092-582-5223 FAX: 092-582-5228

E-mail: info@f-psa.jp

(2) 申込締切日

令和8年8月28日(金)

5 参加料 無料

ゴールボール競技

- 1 期 日 調整中
- 2 会 場 クローバープラザ アリーナ棟 体育館
- 3 実施要項
 - (1) 種 別
ゴールボール（男女混合）
 - (2) 参加資格
 - (ア) チーム、個人を問わず中学生以上の者が参加可能
 - (イ) 未成年者は保護者の同意を得ること
 - (3) チーム編成
個人参加の場合、参加状況に応じて主催者側でチームを編成する。
 - (4) 競技方法
「2025年～2028年版 ゴールボールのルールと規則」に特別ルールを規定して準用する。
 - (5) その他
この要項に定めるもののほか、大会実施に関して必要な事項は、主催者及び関係者で協議し決定する。
- 4 参加申込
 - (1) 申 込 先
ゴールボール福岡（担当者：泉廣 / イズヒロ）
TEL：080-5432-8319
E-mai:k-izuhiro@jcom.home.ne.jp
 - (2) 申込締切日
未定
- 5 参加料 無料

サッカー競技（障がい者（知的）の部）

- 1 期 日 令和8年9月20日（日）
※荒天時（雨がひどく、グラウンドに水がたまるような場合）は中止
- 2 会 場 県営春日公園 オクゼン不動産フットボールスタジアム
- 3 実施要項
 - (1) 種 別
サッカー（男女混合）
 - (2) 参加資格
ア 当該年度4月1日現在13歳以上の者で、福岡県に居住し厚生労働事務次官通知による療育手帳の交付を受けた者、あるいはその取得に準ずる障がいのある者
イ 県内の障がい者施設や特別支援学校に入所、通所及び通学している者
 - (3) チーム編成
選手の登録人数の制限は設けない。
 - (4) 競技方法
ア 日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」に準じ、本大会申し合わせ事項による。
イ 試合時間は、40分（前後半20分、ハーフタイムのインターバルは5分）とする。
ただし、参加チーム数によって調整する。
※フレンドリーグゲーム（交流試合）を行う場合は、参加チームに聞き取りを行い調整する。
ウ 選手交代は試合中登録選手の中で何度でも交替可能とする。（再出場可）
エ 参加チームの状況に応じて、トーナメント戦、リーグ戦等、試合方式を決定する。
トーナメント戦方式の場合、第1試合で敗退した場合も、順位決定戦を行い、2試合以上は競技できるものとする。
オ 上位3チームを表彰する。
 - (5) 競技の服装等
ア 本競技会に登録した1着以上のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、着用しなければならない。（2着以上の持参が好ましい。）
イ ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本競技会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる（ビブス等も可）
ウ ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。
エ 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合においていずれのチームがビブス等を着用することを決定する。
オ ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
カ アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
キ アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

(6) 試合球

5号検定球とする。

(7) 注意事項

ア 競技はすべて主審の指示で進行される。

イ 警告・退場に関する規則は弾力的に運用するが、乱暴なプレーに関しては競技規則を適用する。

ウ 本大会の主たる目的を親善・交流とする。競技者の言動がこの目的にふさわしくない場合、監督及びコーチは当該競技者に指導・助言を行う義務を負う。

(8) その他

ア 本大会へ参加する方については、大会パンフレット、SNS等に、大会要項、試合結果、写真、氏名等が掲載されることがある。そのことを了承した上で参加をお願いします。写真及び氏名の掲載に了承いただけない場合は、事前に下記連絡先までメールにてご相談ください。ただし、個人写真の使用、個人にインタビュー等については、事前に承諾の確認を取ります。

4 参加申込

(1) 申込先

(一社)福岡県障がい者スポーツ協会 (担当者：染谷・吉森)

〒816-0804 春日市原町3丁目1番7

TEL：092-582-5223 FAX：092-582-5228

E-mail：info@f-psa.jp

(2) 申込締切日

未定

5 参加料 無料

令和8年度スポーツフェスタ「第69回福岡県民スポーツ大会」
スポーツの総合祭典「第13回市町村対抗福岡駅伝」大会要項

- 1 趣 旨 広く県民の間にスポーツを振興し、その普及・発展とスポーツ精神の高揚を図り、一層健康で明朗な県民生活の確立に寄与する。
- 2 名 称 令和8年度スポーツフェスタ「第69回福岡県民スポーツ大会」
スポーツの総合祭典「第13回市町村対抗福岡駅伝」
- 3 主 催 福岡県、福岡県教育委員会、(公財)福岡県スポーツ協会
(一財)福岡陸上競技協会
筑後市、筑後市教育委員会、筑後市スポーツ協会、
みやま市、みやま市教育委員会、みやま市スポーツ協会
- 4 主 管 スポーツフェスタ「福岡県民スポーツ大会」
スポーツの総合祭典「市町村対抗福岡駅伝」実行委員会
- 5 同時開催 キッチンカーランチフェス、こどもあそびフェスタ、運動体験教室、
レクリエーションコーナー他
- 6 期 日 令和8年11月15日(日)12時00分スタート 雨天決行
(バックアップランナーフリーラン 11時00分スタート予定)
- 7 参加チーム数 60チーム
- 8 コ ー ス 県営筑後広域公園周回コース
- 9 区間と距離 8区間 25.7km
1区 5.3km 一般男子 (19歳以上)
2区 2.4km 中学生女子
3区 2.7km 中学生男子
4区 2.4km 一般女子 (19歳以上)
5区 2.7km ジュニア男子 (中学1年生～18歳)
6区 2.4km ジュニア女子 (中学1年生～18歳)
7区 2.7km シニア (40歳以上)
8区 5.1km 一般男子 (19歳以上)

(※年齢は令和9年4月1日時点の年齢とする)

10 出場資格

- (1) 競技者は、令和8年8月1日現在、各市町村に在住している者とする。
- (2) 中学生は、原則として保護者の居住地から出場すること。ただし、保護者の居住区から出場しない場合、学校所在地からの出場を認める。
- (3) 一般男女・シニア・ジュニア男女(高校生に限る)については、他県・他市町村在住であっても、出身中学校所在地の市町村からの出場を認める。ただし、複数のチームから参加依頼がある場合は、本人の意思を尊重し、当事者間で十分協議の上決定する。
- (4) 勤務先所在地の市町村からの出場を以下の条件で認める。
 - ① 令和8年8月1日以前から勤務している者に限る。
 - ② 居住地より在勤地の人口が少ないことを条件として認める。
(なお、人口が25,000人未満の町村(令和7年4月1日現在)は、この条件を適用せず、認める。)
 - ③ 選手の居住地からの参加依頼がある選手については、居住地からの出場を優先する。
- (5) (3)と(4)を合わせて4名までとする。
- (6) 外国籍者は、住民票がある居住地からの出場を認める。

11 チーム編成

- (1) 1市町村1チームとする。
- (2) 市町村単独で出場することを原則とする。ただし、特別な事由がある場合には、実行委員会の承認を得て、近隣の2市町村で合併することを認める。
- (3) チームは、監督1名、選手8名、補欠8名以内の計17名以内とする。

12 競技規程

- (1) 競技は、市町村対抗形式とする。
- (2) 本大会は、2026年日本陸上競技連盟競技規則及び同駅伝競走基準を適用する。
- (3) ユニフォームについては、各チーム統一のものであることが望ましい。
- (4) 競技の伴走は認めない。ただし、障がいがあり、伴走を必要とする場合はこの限りではない。
- (5) アスリートビブス及びたすきは主催者側で準備する。
- (6) アスリートビブス及び監督腕章について
 - ① 選手のアスリートビブスは胸背部に、また、監督は腕章をつけること。
なお、監督以外で補助スタッフビブスを2名つけることができる。
 - ② チーム番号は、別表アスリートビブス一覧表のとおりとする。
 - ③ アスリートビブスがない場合は、参加できない。

13 競技者変更(※資料1参照)

- (1) 申込み締め切り後の選手変更は認めない。ただし、選手と補欠選手の交代は、当日の監督者会議前までに、所定用紙提出を事務局に提出すること。
- (2) 特別な事由により補欠選手以外と交代する場合については、当日の監督者会議で説明し、承認を得ること。

- (3) 補欠選手の変更はできず、登録した区間以外で出場することはできない。ただし、下記の①～③の区間の入れ替えについては、補欠選手の中に交代する種別の選手がいない場合のみ、当日の監督者会議において、その旨を説明し、承認を得ることにより、2名以内の変更が認められる。
- ① 1, 8区間一般男子の補欠選手の区間の入れ替え
 - ② 2, 6区間中学生女子の補欠選手の区間の入れ替え
 - ③ 3, 5区間中学生男子の補欠選手の区間の入れ替え
- (2) 第7区シニア(40歳以上)の補欠選手は、一般男子(シニア男子のみ)、一般女子(シニア女子のみ)区間の入れ替え選手として認める。入れ替えを行う場合、当日の監督者会議で、その旨を報告すること。

14 表 彰

- (1) 総合の部で優勝のチームには、トロフィー及び賞状を授与する。また、3位までは賞状を授与する。
- (2) 優秀賞(市の部・町村の部)1位のチームにはトロフィー及び賞状を授与する。また各8位までは賞状を授与する。ただし、総合の部で受賞したチームは除く。
- (3) 区間記録1位には、区間賞を授与する。
- (4) 前回大会に比べ、順位が伸びた市町村に躍進賞を授与する。
- (5) ジュニア賞として、中学生区間(2・3区)及びジュニア区間(5・6区)を合計したタイムの上位6チームを表彰する。

15 受 付

時 間:8時30分～8時45分(福岡地区・南筑後地区・北筑後地区)
8時45分～9時00分(筑豊地区・北九州地区・京築地区)
場 所:筑後船小屋公園の宿 筑後市津島2108-1

16 監督会議

時 間:9時00分～
場 所:筑後船小屋公園の宿 筑後市津島2108-1

17 開 会 式

時 間:10時00分～
場 所:県営筑後広域公園(野外ステージ前)筑後市尾島262

18 バックアップランナーフリーラン

時 間:11時00分～
場 所:県営筑後広域公園周回コース 筑後市尾島262

19 駅伝開始

時 間:12時00分～

場 所: 県営筑後広域公園周回コース 筑後市尾島262

20 表彰式

時 間: 15時00分～

場 所: 県営筑後広域公園(野外ステージ前)筑後市尾島262

21 大会開催の可否

- (1) 原則として、雨天の場合でも実施する。ただし、荒天や緊急事態宣言等の影響で開催が困難と判断した場合は中止とする。
- (2) 荒天になることが、あらかじめ予測される場合(台風・大雨等)は、前日の午後6時まで、(公財)福岡県スポーツ協会HPに態度決定を掲載する。
- (3) (2)以外の場合については、中止の態度決定は、大会当日の午前6時に福岡県スポーツ協会HPに掲載する。

22 個人情報の取り扱い

- (1) 主催者および協力団体は、個人情報の保護に関する法律および関連法令等を順守し、個人情報を取り扱う。

【競技会開催を目的とした個人情報の利用】

本大会の資格審査、プログラム編成および作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営に必要な連絡等に利用する。また、主催・協力団体等による報道目的の取材や、協賛先等によるサービスの提供等に利用することがある。

- (2) 本大会はインターネットで動画配信を行うことがある。
- (3) 本大会の映像は主催者および協力団体の許可なく第三者がこれを使用すること(インターネット上において画像や動画を配信することを含む)を禁止する。
- (4) 本大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者、協力団体および主催者、協力団体が承認した第三者が大会運営および宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。

23 その他

- (1) 主催者において参加者全員を被保険者として、スポーツ保険に加入する。
- (2) 競技中に事故があった場合は、応急処置のみ主催者側が行う。
- (3) 参加者は、健康診断を受けて異常がないと認められた者であること。なお、学生・生徒については学校で受診する健康診断をもって充てることができる。

24 大会事務局

スポーツの総合祭典「市町村対抗福岡駅伝」実行委員会事務局
(福岡県人材育成・活躍推進部スポーツ局スポーツ振興課)
所在地: 福岡市博多区東公園7-7
TEL: 092-643-3515 FAX: 092-643-3408

スポーツの総合祭典「第13回市町村対抗福岡駅伝」アスリートビブス一覧表

1	北九州	市	31	篠	栗	町
2	福岡	市	32	志	免	町
3	大牟田	市	33	須	惠	町
4	久留米	市	34	新	宮	町
5	直方	市	35	久	山	町
6	飯塚	市	36	粕	屋	町
7	田川	市	37	芦	屋	町
8	柳川	市	38	水	卷	町
9	八女	市	39	岡	垣	町
10	筑後	市	40	遠	賀	町
11	大行	市	41	小	竹	町
12	行橋	市	42	鞍	手	町
13	豊前	市	43	桂	川	町
14	中関	市	44	筑	前	町
15	小郡	市	45	東	峰	村
16	筑紫	野	46	大	刀	洗
17	春日	市	47	大	木	町
18	大野	城	48	大	川	町
19	大宗	市	49	広	春	町
20	太宰	府	50	香	田	町
21	古賀	市	51	添	田	町
22	福岡	市	52	糸	崎	町
23	うきは	市	53	川	任	町
24	宮若	市	54	大		村
25	嘉麻	市	55	赤	智	町
26	朝倉	市	56	福	田	町
27	みやま	市	57	苅	や	こ
28	糸島	市	58	み	富	町
29	那珂	川	59	吉	毛	町
30	宇美	町	60	上	上	町
				築		